

統合管理ソフト  
CMS  
操作説明書

作成：2014/08/26



# 統合管理ソフト (CMS) 操作説明書

## 改訂履歴

2014/08/26 初版作成 (Ver 2.0.4.73073 対応版)

## 目次

はじめに .....	1
保証の制限.....	1
注意事項 .....	2
制限事項 .....	2
1 セットアップ .....	3
1-1 ご利用の流れ .....	3
1-2 CMS のインストール .....	4
1-3 CMS の起動.....	6
1-3-1 メイン画面の起動 .....	6
1-3-2 セットアップウィザードの起動 .....	6
1-4 CMS の終了.....	7
1-4-1 メイン画面の終了.....	7
1-4-2 セットアップウィザードの終了.....	7
2 メイン画面.....	8
2-1 ログイン.....	8
2-2 メニュー.....	9
2-2-1 ライブモニター .....	9
2-2-2 イベントモニター .....	18
2-2-3 再生 .....	19
2-2-4 E-マップモニター.....	23
2-2-5 SVD .....	26
2-3 ツリー .....	26
2-4 パターン .....	27
2-5 イベント.....	28
2-6 シーケンス .....	29
2-7 システム.....	30
2-7-1 サービスモード .....	30
2-7-2 NVR 設定.....	31
2-7-3 言語 .....	31
2-7-4 バージョン .....	31
2-7-5 ロックスクリーン .....	32
3 セットアップウィザード (設定画面) .....	33
3-1 システム設定 .....	33

3-2 NVR.....	34
3-2-1 NVR 自動登録 .....	34
3-2-2 NVR 手動登録 .....	37
3-2-3 NVR 削除.....	38
3-2-4 カメラ設定変更.....	39
3-2-5 カメラ新規登録.....	40
3-2-6 カメラ削除.....	43
3-2-7 プリセット設定.....	44
3-2-8 プリセットシーケンス設定.....	47
3-3 インテリジェント検知設定 .....	49
3-3-1 モーション検知.....	49
3-3-2 妨害行為検知 .....	51
3-3-3 持ち去り検知 .....	53
3-3-4 ライン通過検知.....	55
3-3-5 カメライベント.....	57
3-4 グループ/ユーザー設定 .....	58
3-4-1 グループ権限設定.....	58
3-4-2 ユーザー登録 .....	59
3-4-3 ユーザー更新 .....	60
3-4-4 ユーザー削除 .....	61
3-5 イベント通知設定 .....	62
3-6 イベントサーバー .....	64
3-6-1 メールサーバー.....	64
3-6-2 FTP サーバー .....	65
3-6-3 メッセージ設定.....	66
3-6-4 音声設定.....	67
3-7 E-マップ設定.....	68
3-8 スクリーン配置設定 .....	71
3-9 起動後の初期画面設定.....	72
3-10 SVD 画面.....	75
3-11 管理.....	75
3-11-1 イベント情報.....	75
3-11-2 システムログ .....	76
4 付録.....	78
4-1 インテリジェント機能の種類.....	78
4-2 インテリジェント機能の制限事項、設定時の注意事項.....	78

# 統合管理ソフト（CMS）操作説明書

## はじめに

本製品をご購入いただき、ありがとうございます。本ユーザマニュアルでは、本製品の取り扱い、並びに使用方法を説明します。

- (1) 本書に記載されているすべての機能、仕様、特長その他は予告なしに変更されることがあります。
- (2) 記載されているすべてのブランド名および製品名は各社の登録商標です。
- (3) 説明書内の画面イメージが実際と違う部分があります。基本機能は変わりませんのでご了承ください。

## 保証の制限

- (1) いかなる場合も、株式会社システム・ケイ(以下弊社)は直接、間接を問わず製品に対して支払われた価格を超えて責任を負うことはありません。
- (2) 弊社は本製品及および付随するすべてのソフトウェア及びドキュメントの内容や使用に関して明示的または黙示的または法的に保証するものではなく、またその品質、性能、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- (3) 弊社は本製品の顧客へ事前の予告なしに製品、ソフトウェア、またはマニュアルを改訂または更新する権利を留保します。
- (4) 本マニュアルの記載を守らないことにより生じた損害に関しては、弊社は一切責任を負いません。また予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更・修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。
- (5) 弊社は製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じていかなる損害に対しても責任を負いません。
- (6) 弊社はこのマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的または黙示的な保証を一切致しません。

## 注意事項

- (1) 本管理画面上で SVR と表記されている場合がありますが、NVR、ICS Pro を意味しません。
- (2) 本マニュアル記載の管理画面は、CMS のバージョンにより実際の管理画面と一部異なる場合がありますが、操作方法は共通です。
- (3) 本ソフトウェアとユーザマニュアルの最新版は下記サポートページよりダウンロードをお願い致します。

<http://nvr.bz/catalogdl.html>

## 制限事項

- (1) ディスプレイ推奨解像度 1024×768 以上 （左記を満たしていない場合、管理画面の一部が表示されない可能性があります。）
- (2) インストールに必要な PC 仕様は以下となります。

### 【ハードウェア】

CPU : Intel Core 2 Duo 2Ghz 以上

RAM : 2GB 以上

グラフィックカード : 独立したグラフィックカード DirectX9.0c 以上

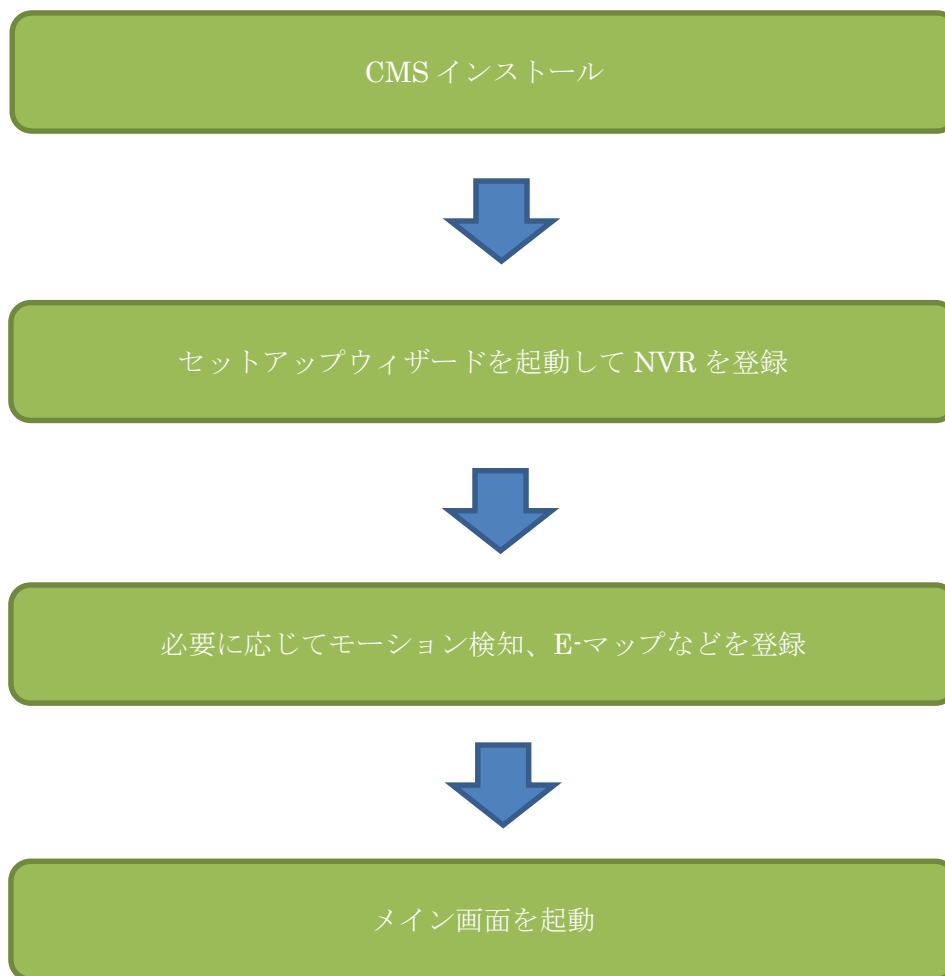
ネットワーク : 100 MB ネットワークインターフェイス以上

### 【ソフトウェア】

OS : Windows XP(SP)、Windows Vista、Windows7、Windows2003

## 1 セットアップ

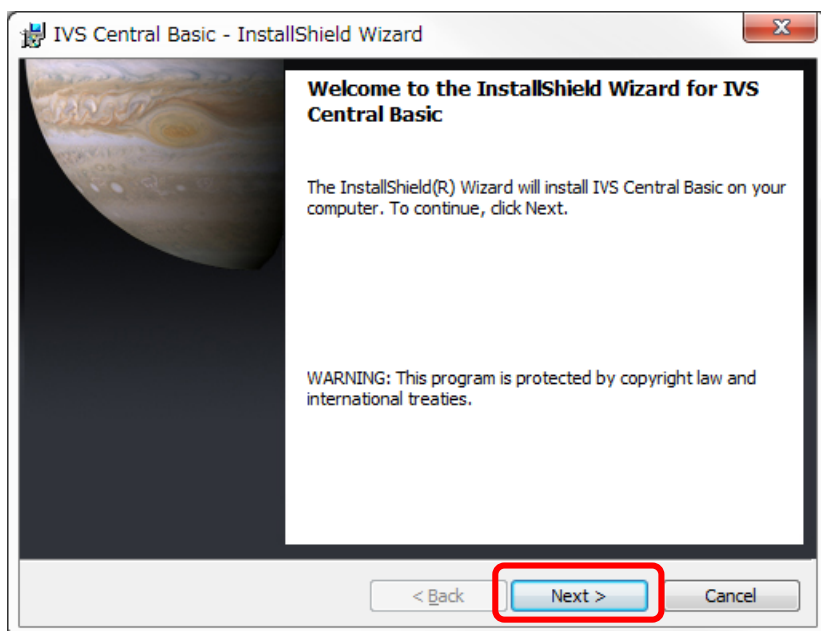
### 1-1 ご利用の流れ



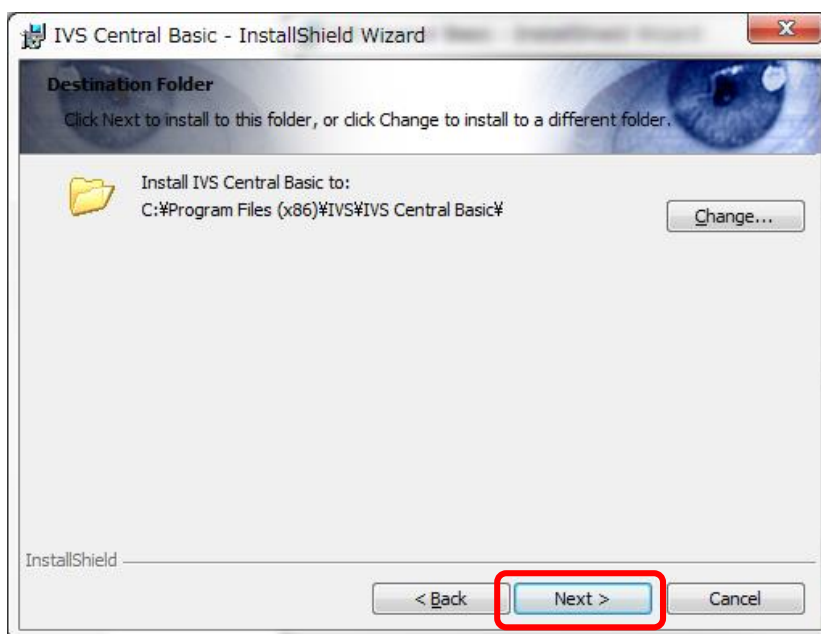


1-2 CMS のインストール

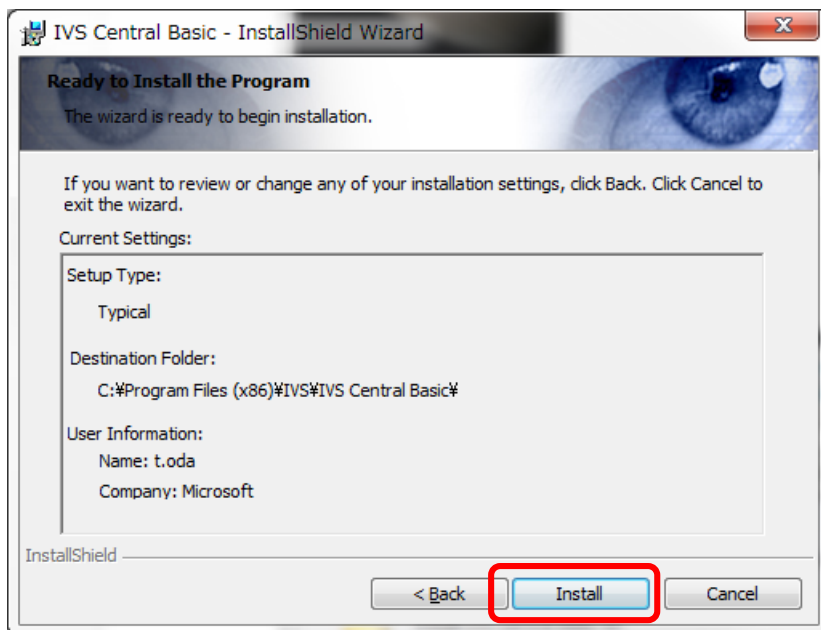
付属の CD-ROM を PC のドライブに挿入し、インストーラを起動します。



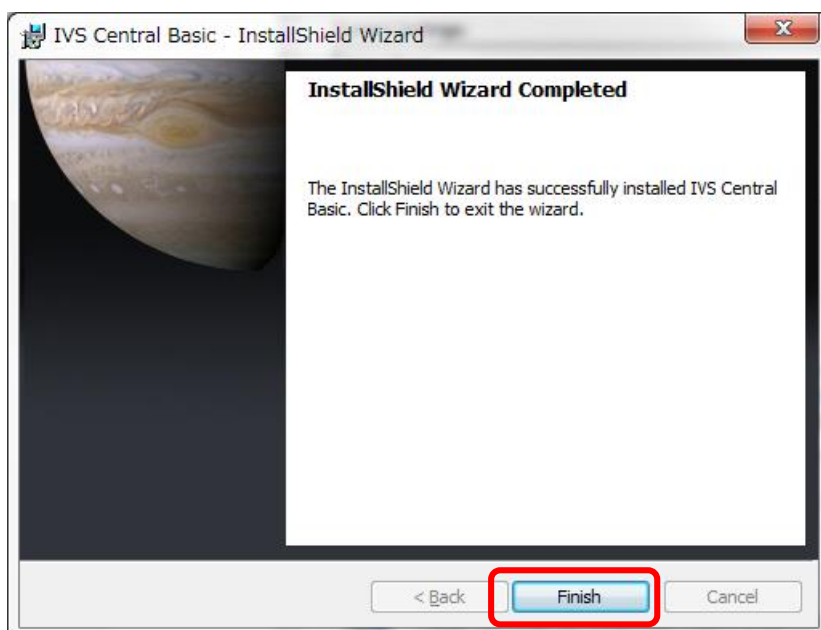
「Next >」 ボタンをクリックします。



「Next >」 ボタンをクリックします。



「Install」ボタンをクリックします。



「Finish」ボタンをクリックします。

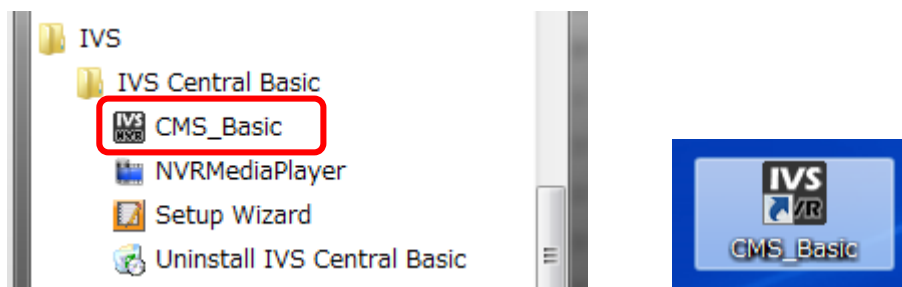
※インストールは管理者権限のユーザーで実施して下さい。

### 1-3 CMS の起動

#### 1-3-1 メイン画面の起動

スタートメニューもしくはデスクトップに作られたショートカットアイコンをダブルクリックして起動します。

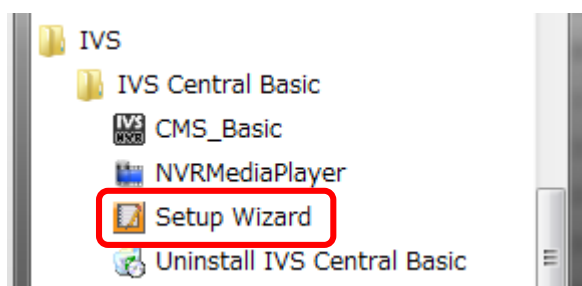
スタート>すべてのプログラム>IVS>IVS Central Basic>CMS\_Basic



#### 1-3-2 セットアップウィザードの起動

スタートメニューから起動します。

スタート>すべてのプログラム>IVS>IVS Central Basic>Setup Wizard



#### 1-4 CMS の終了

##### 1-4-1 メイン画面の終了

- (1) [メニュー]をクリックします。
- (2) [閉じる]をクリックします。



##### 1-4-2 セットアップウィザードの終了

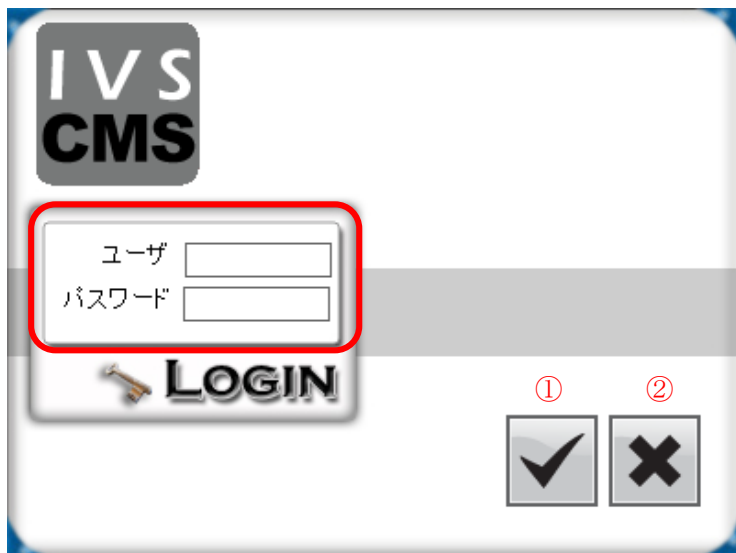
- (1) [閉じる]をクリックします。



## 2 メイン画面

### 2-1 ログイン

登録済みのユーザーアカウント情報を入力します。



- (1) ユーザー名とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。(①)
- (2) キャンセルボタンをクリックするとログインせずに終了します。(②)

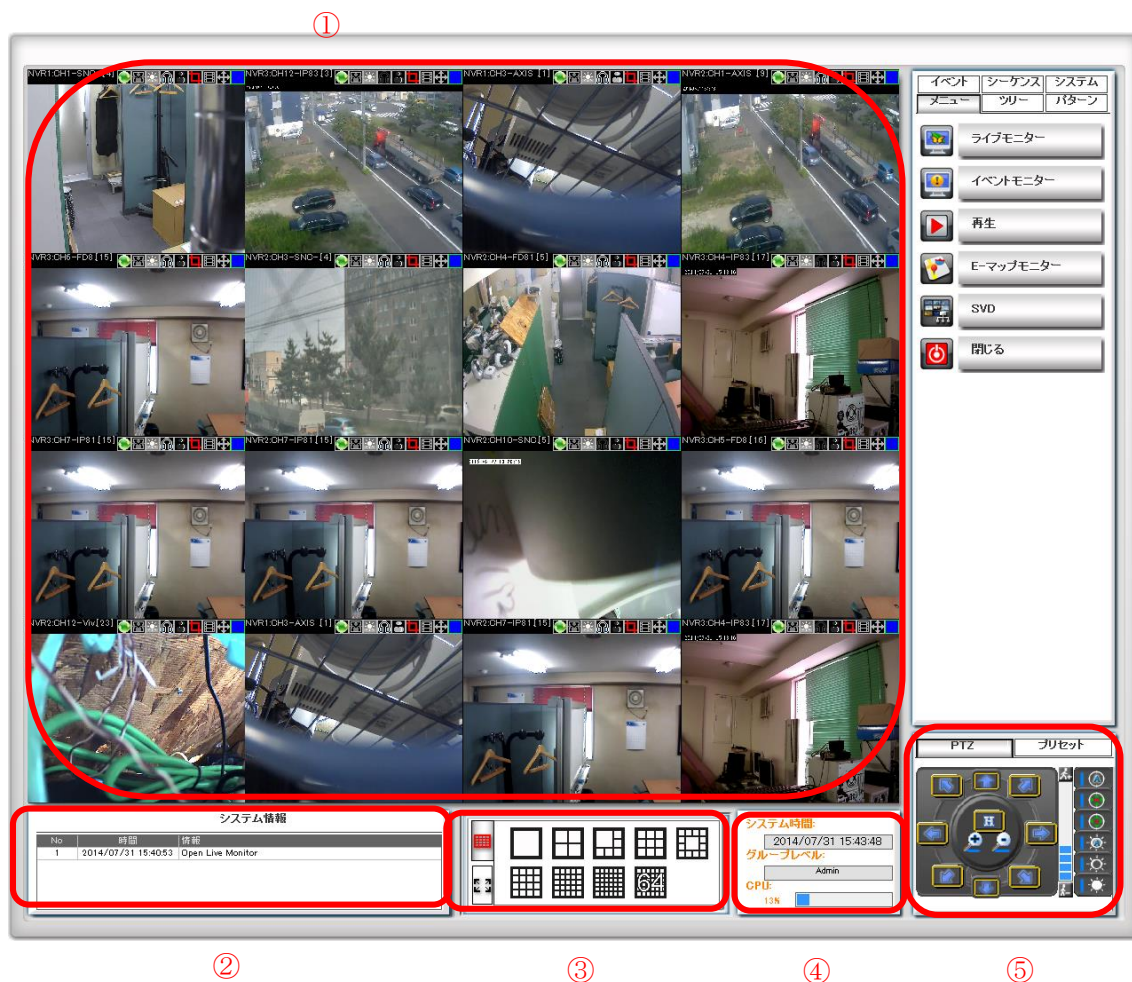
※ユーザーアカウントが1件も登録されていない場合はログイン画面が表示されません。

※ユーザーアカウントはセットアップウィザードから登録します。

## 2-2 メニュー

### 2-2-1 ライブモニター

本ソフトを起動すると最初にライブモニターが表示されます。



- (1) ライブ映像を表示します。(①)
- (2) システム情報を表示します。(②)
- (3) 分割画面パネルの選択およびフルスクリーン表示設定をします。(③)
- (4) PC 情報を表示します。(④)
- (5) PTZ、プリセット操作を行います。(⑤)






※1つのカメラだけを表示する場合は、対象カメラ映像をダブルクリックします。  
もう一度ダブルクリックすると元の分割表示画面に戻ります。

### 2-2-1-1 画面操作

ここではライブ画面上部の操作ボタンの機能を解説します。



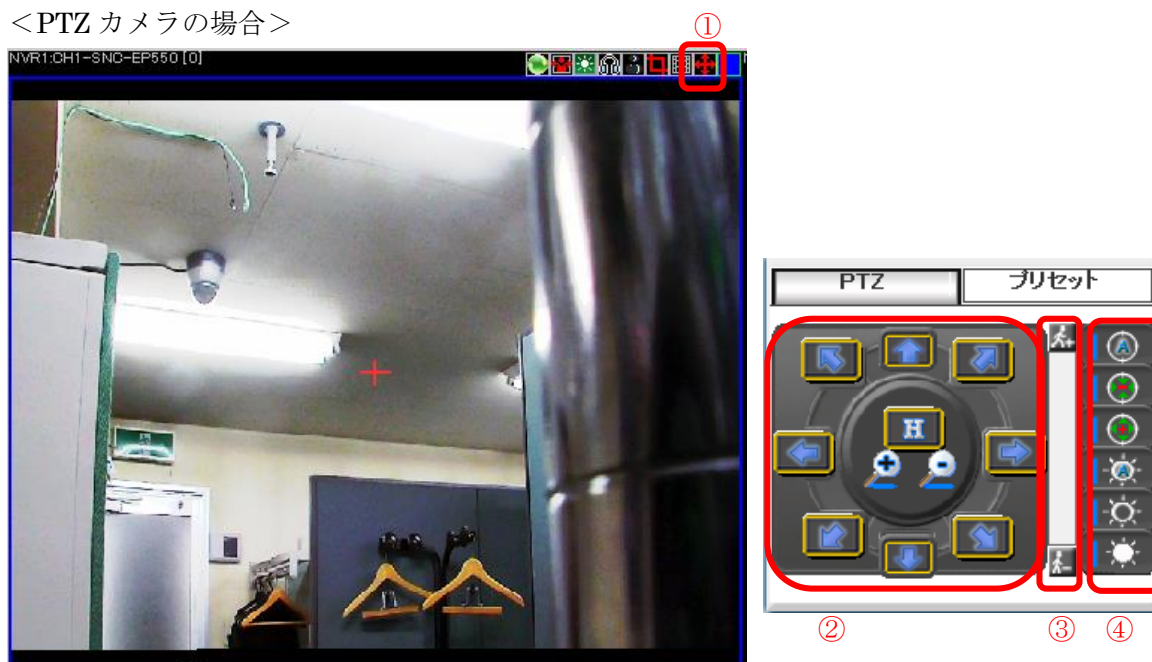
アイコン	アイコン名	内容
	再接続	カメラに再接続します。
	アスペクト比の維持	画面比率を調整します。
	画質自動修正	画質を調整します。
	オーディオ	のアイコンの場合はカメラ側マイクからの音声を再生します。アイコンの場合はカメラ側スピーカーへ音声を出力します。 ※音声非対応カメラの場合は表示されません。
	モーション検知のイメージを表示	モーション検知設定したエリアで動きがあると検知した領域が緑色で塗りつぶされて表示します。
	スナップショット	<b>JPEG</b> 画像を取得します。
	手動録画	手動録画を開始します。もう一度クリックすると停止します。
	PTZ 操作	アイコンの場合は <b>PTZ</b> カメラを実際に動かす PTZ 操作を行います。アイコンの場合はデジ

		タル PTZ 操作を行います。
  	カメラ情報	カメラの動作状態を表示します。  : 動作中  : 未接続  : イベント発生

### 2-2-1-2 PTZ 操作

ここでは PTZ カメラの操作方法を説明します。

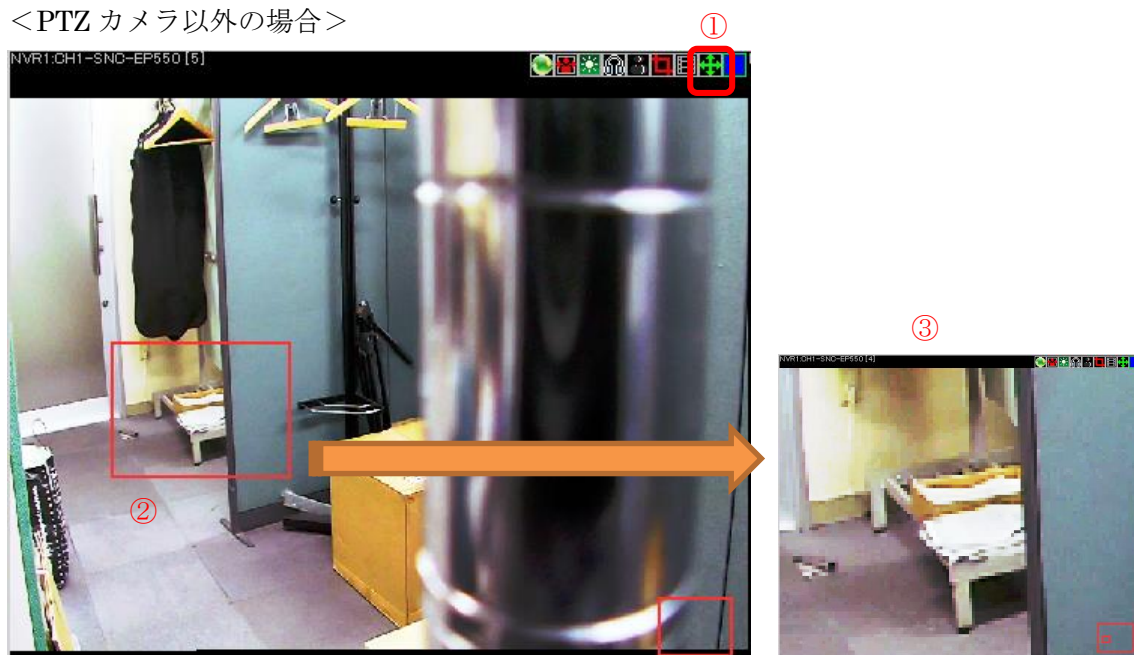
<PTZ カメラの場合>



- (1) PTZ アイコンをクリックすると赤色のアイコンに変わり、ライブ画面の枠が青に変わります。(①)
- (2) カメラ映像上で移動したい地点をクリックすることでカメラの視点を移動します。
- (3) マウスホイールを操作してズームイン、ズームアウトの操作を行います。
- (4) PTZ コントロールパネルからでも操作する事ができます。(②)
- (5) カメラの移動速度の調整も可能です。(③)
- (6) カメラのフォーカス、オートアイリスの調整も可能です。(④)



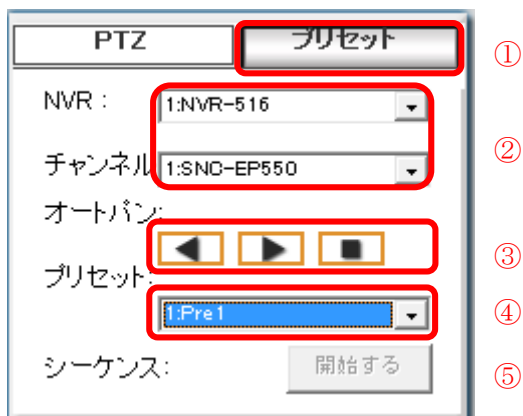
<PTZ カメラ以外の場合>



- (1) PTZ アイコンをクリックすると緑色のアイコンに変わります。(①)
- (2) 拡大表示したいエリアの始点でマウスを押し、そのままの状態でもうすを移動するとエリアが赤枠で表示されます。(②)
- (3) マウスのボタンを離すと赤枠エリアの部分をデジタルズームした映像が表示されます。(③)
- (4) さらに映像上でマウスをドラッグさせるとデジタルズームした領域を移動する事ができます。

※デジタル PTZ 操作では PTZ コントロールパネルから操作はできません。

### 2-2-1-3 プリセットポイントへの移動

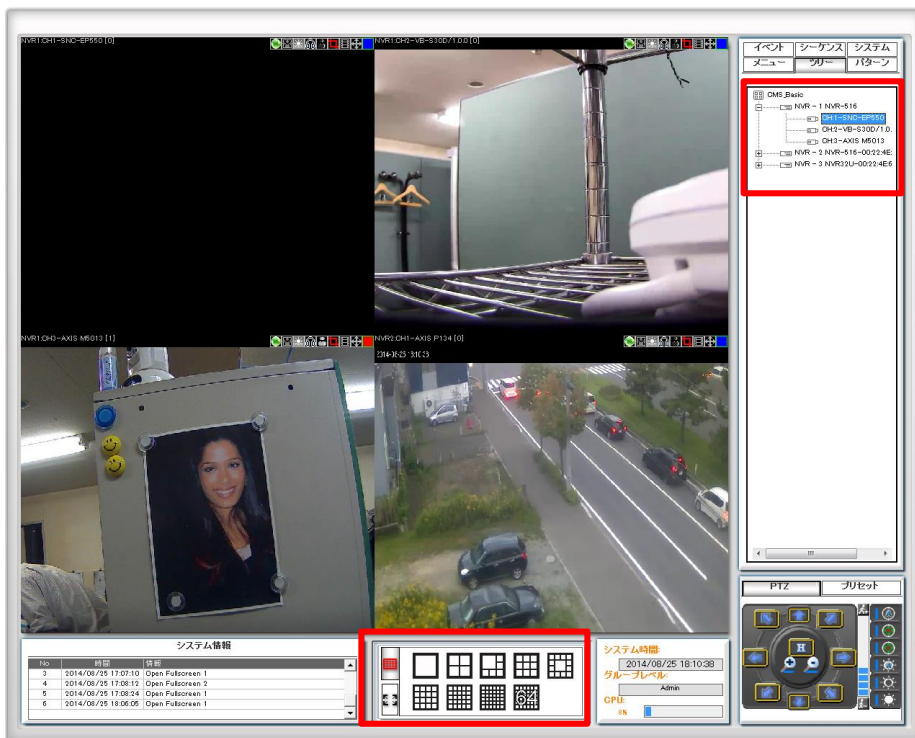


- (1) プリセットタブをクリックします。(①)
- (2) NVR とチャンネル（カメラ）を選択します。(②)
- (3) オートパンのボタンをクリックすると左右どちらかに移動可能な位置まで自動で移動します。(③)
- (4) プリセットを選択するとカメラはその位置に移動します。(④)
- (5) プリセットを巡回する場合はシーケンスの開始ボタンをクリックします。(⑤)

※カメラ機種によっては上記の機能の一部に対応していない場合があります。

### 2-2-1-4 分割画面パネル

ここでは分割画面表示の設定をします。

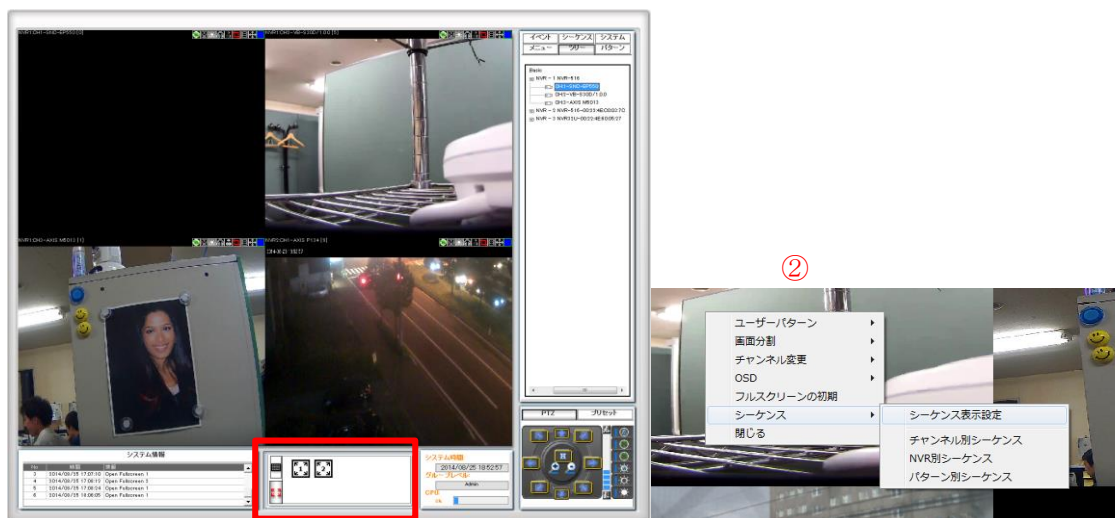


(1) 分割画面を設定します。(①)

(2) 必要に応じてカメラツリーから表示したいカメラを指定します。(②)

### 2-2-1-4 フルスクリーン

ここではフルスクリーン表示する場合の設定をします。



- (1) フルスクリーンアイコンをクリックします。(①)
- (2) フルスクリーン画面上でマウスを右クリックすると、下記のメニューが表示されます。(②)

メニュー項目	説明
ユーザーパターン	ユーザーパターンで設定した分割パターンでフルスクリーン表示します。
画面分割	1 / 4 / 6 / 13 / 16 / 25 / 36 / 64 分割表示から選択してフルスクリーン表示できます。
チャンネル変更	登録している NVR を選択してフルスクリーン表示します。
OSD	ライブ画面に表示する項目（NVR 名、カメラ名）の文字の大きさと文字色を設定します。
フルスクリーンの初期	フルスクリーンの設定を初期化します。
シーケンス	シーケンスパターンの設定および設定したシーケンスを実行します。
閉じる	フルスクリーン画面を閉じます。

※ディスプレイが複数台接続されている場合はフルスクリーンアイコンも複数表示され、どのディスプレイに表示するか選択できます。

### <シーケンス表示設定について>

ここではフルスクリーンでシーケンス表示する場合の設定をします。



### <チャンネル別シーケンス>

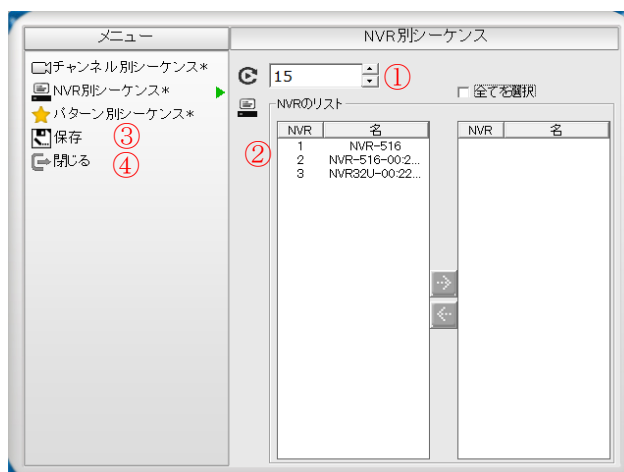
- (1) 表示間隔を選択します。(①)
- (2) シーケンス表示する全てのチャンネルを選択します。(②)
- (3) 画面分割を選択します。(③)
- (4) 保存ボタンをクリックします。(④)
- (5) 閉じるボタンをクリックします。(⑤)

※「全てを選択」にチェックを入れると全てのチャンネルを選択した状態になります。

<NVR 別シーケンス>

- (1) 表示間隔を選択します。(①)
- (2) NVR を選択します。(②)
- (3) 保存ボタンをクリックします。(③)
- (4) 閉じるボタンをクリックします。(④)

※「全てを選択」にチェックを入れると  
全ての NVR を選択した状態になります。



<パターン別シーケンス>

- (1) 表示間隔を選択します。(①)
- (2) パターンを選択します。(②)
- (3) 保存ボタンをクリックします。(③)
- (4) 閉じるボタンをクリックします。(④)

※「全てを選択」にチェックを入れると  
全てのパターンを選択した状態になります。



## 2-2-2 イベントモニター

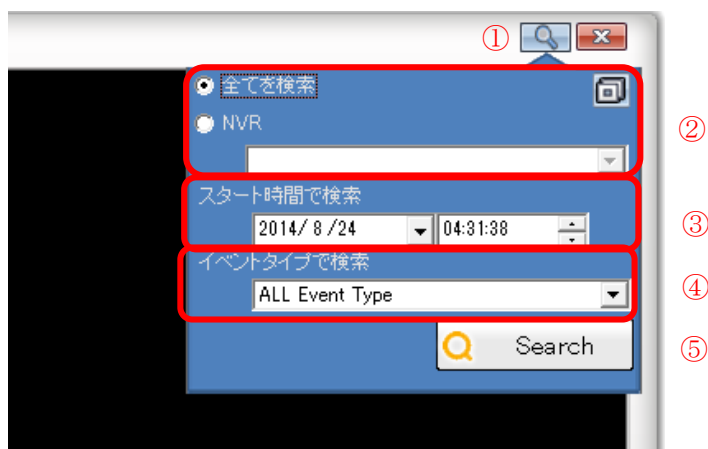
ここではモーション検知などのイベント発生リストを表示します。

ID	発生時刻	発生種別	発生場所	発生カメラ
001000-140801140	2014/08/25 19:05:48	1	3	OK
001000-140801141	2014/08/25 19:05:48	1	3	Flare
001000-140801137	2014/08/25 19:05:37	1	3	OK
001000-140801134	2014/08/25 19:05:24	1	3	Flare
001000-140801134	2014/08/25 19:05:24	1	3	OK
001000-140801130	2014/08/25 19:05:18	1	3	OK
001000-140801127	2014/08/25 19:05:07	1	3	OK
001000-140801127	2014/08/25 19:05:07	1	3	OK
001000-140801116	2014/08/25 19:05:16	1	3	OK
001000-140801116	2014/08/25 19:05:16	1	3	OK
001000-140801106	2014/08/25 19:05:06	1	3	OK
001000-140801106	2014/08/25 19:05:06	1	3	OK
001000-140801077	2014/08/25 19:04:37	1	3	OK
001000-140801076	2014/08/25 19:04:36	1	3	OK
001000-140801056	2014/08/25 19:04:16	1	3	OK
001000-140801049	2014/08/25 19:04:09	1	3	OK
001000-140801049	2014/08/25 19:04:09	1	3	OK
001000-140801048	2014/08/25 19:04:08	1	3	OK
001000-140801035	2014/08/25 19:03:55	1	3	OK
001000-140801035	2014/08/25 19:03:55	1	3	OK
001000-140801024	2014/08/25 19:03:44	1	3	OK
001000-140801024	2014/08/25 19:03:44	1	3	OK
001000-140801014	2014/08/25 19:03:34	1	3	OK
001000-140801013	2014/08/25 19:03:33	1	3	OK
001000-140801003	2014/08/25 19:03:33	1	3	OK
001000-140801003	2014/08/25 19:03:33	1	3	OK
001000-140800997	2014/08/25 19:03:11	1	3	OK
001000-140800991	2014/08/25 19:03:01	1	3	OK
001000-140800991	2014/08/25 19:03:01	1	3	OK
001000-140800981	2014/08/25 19:03:01	1	3	OK

- (1) イベントリストの中から対象のイベントをクリックします。(①)
- (2) 録画映像が再生されます。(②)
- (3) チャンネル（カメラ）の情報が表示されます。(③)
- (4) E-マップ上のカメラの位置が表示されます。(④)

### <イベントを検索する場合>

検索条件を指定してイベントを検索します。



- (1) 検索ボタンをクリックします。(①)
- (2) 検索対象のNVRを選択します。(登録済みNVR全てか特定のNVR) (②)
- (3) 検索日時を入力します。(③)
- (4) イベントタイプを指定します。(④)
- (5) 検索ボタンをクリックします。(⑤)

### 2-2-3 再生

ここではNVRに録画された映像を再生します。





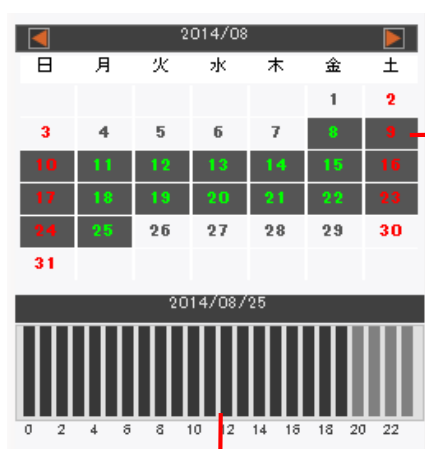
- (1) 検索条件を入力します。(①)
- (2) 録画映像が再生されます。(②)
- (3) 早送り、巻き戻しなどの操作を行います。(③)
- (4) 再生開始時間を変更します。(④)
- (5) 指定した時間帯にイベントが発生しているとサムネイル画像が表示されます。(⑤)

#### <検索条件の入力手順詳細>

NVR をプルダウンの中から選択し、検索するチャンネル（カメラ）を選択して検索ボタンをクリックします。



次にカレンダーから検索日時をクリックします。










録画されている日は  
ダークグレー表示されます

カレンダーの日をクリックすると、その日の録画映像のある時間帯がダークグレー表示されます。

ダークグレー表示された時間帯をクリックすると録画映像の再生が開始します。

<再生画面のアイコン>

アイコン	アイコン名	内容
	AVI 出力	AVI ファイルに出力します。
	アスペクト比の維持	画面比率を調整します。
	画質自動修正	画質を調整します。
	オーディオ	音声を再生します。 ※音声非対応カメラの場合は表示されません。
	スナップショット	JPEG 画像を取得します。
	デジタル PTZ	デジタル PTZ 操作を行います。
	カメラ情報	カメラの動作状態を表示します。 ■：動作中 ■：未接続 ■：イベント発生

<AVI 出力について>

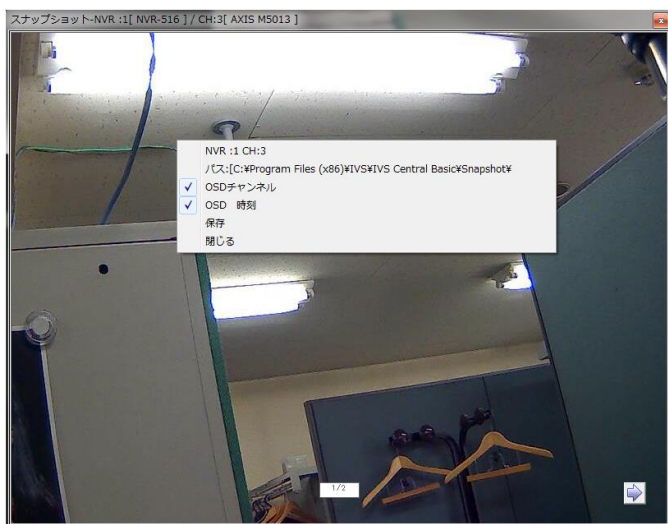
AVI 出力アイコンを使用することで録画映像の AVI ファイルを PC に保存する事ができます。AVI 出力アイコンをクリックした時点から開始し、もう一度アイコンをクリックした時点で終了します。

※出力された AVI ファイルは本ソフトのインストールフォルダ内の“AVI”フォルダに自動的に保存されます。

※AVI 出力できる録画映像は最大 1 時間までとなります。

### <スナップショットについて>

スナップショットアイコンをクリックするとポップアップ画面が起動します。  
その画面上で右クリックしメニューから [保存] をクリックすることで PC に保存します。



※出力されたスナップショットは本ソフトのインストールフォルダ内の“Snapshot”フォルダに自動的に保存されます。

### <イベントサムネイル画像>

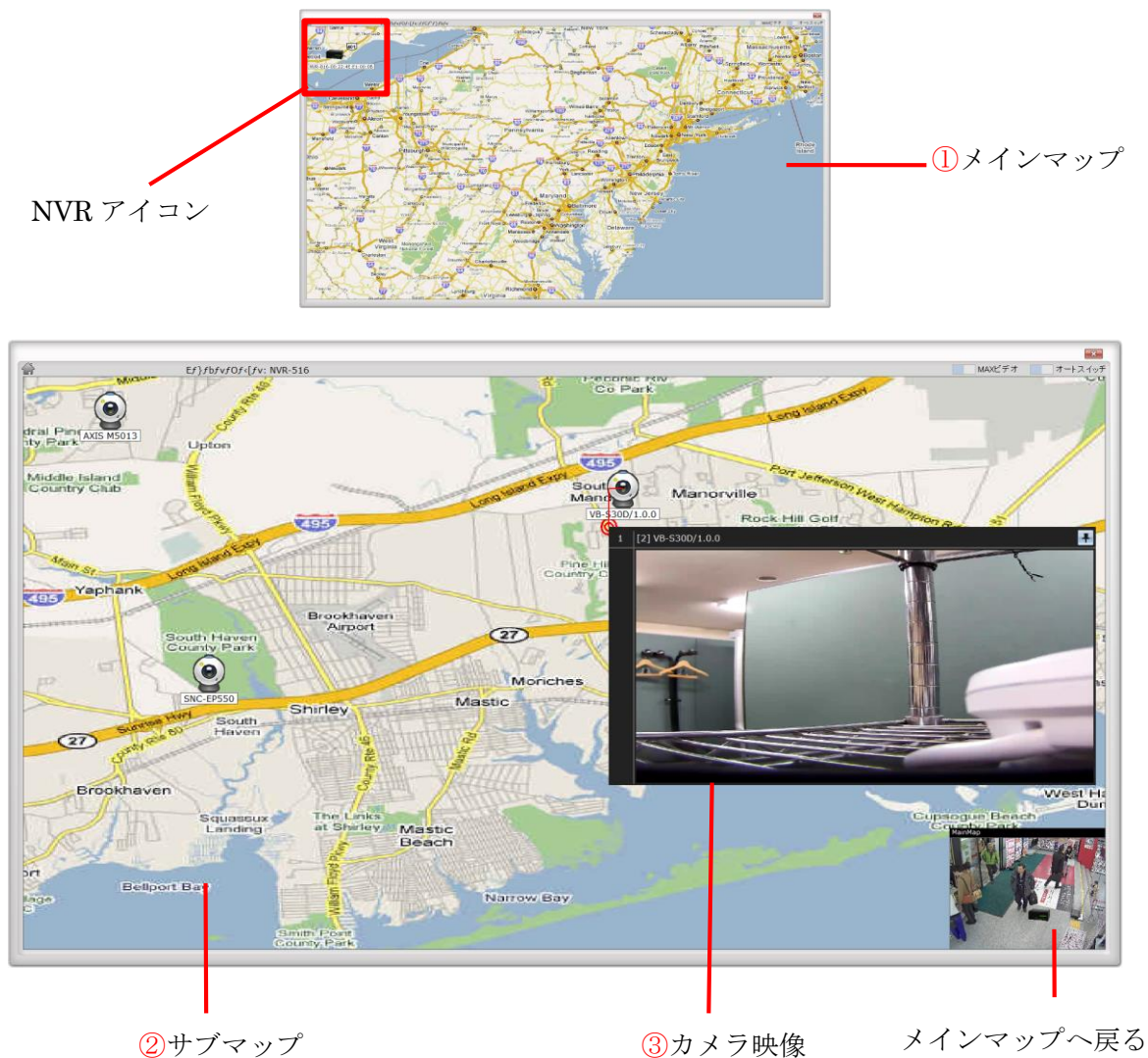
検索条件で指定した時間帯にイベントが発生していた場合、そのサムネイル画像を表示します。

表示されたサムネイル画像をクリックするとイベント録画映像が再生されます。



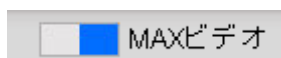
## 2-2-4 E-マップモニター

ここではマップ上の NVR とカメラの設置場所を確認することができます。



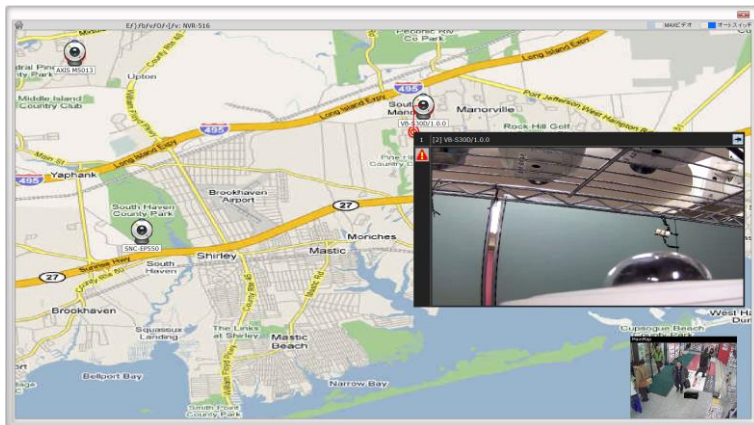
- (1) メインマップでは各 NVR の設置場所が表示されます。(①)
- (2) メインマップ上の NVR アイコンをクリックするとサブマップが表示され、対象 NVR に登録されているカメラの設置場所が表示されます。(②)
- (3) カメラのアイコンをクリックするとカメラ情報とライブ映像が表示されます。(③)
- (4) イベントが発生するとアイコンが点滅し、カメラ映像とイベント情報が表示されます。

### <MAX ビデオ設定>

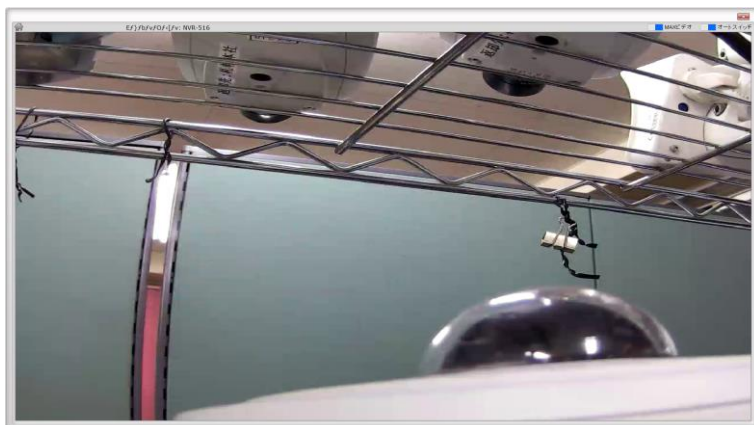


MAX ビデオ設定を有効にするとイベント発生時の映像を最大化して表示することができます。

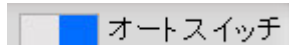
### MAX ビデオ OFF 時



### MAX ビデオ ON 時

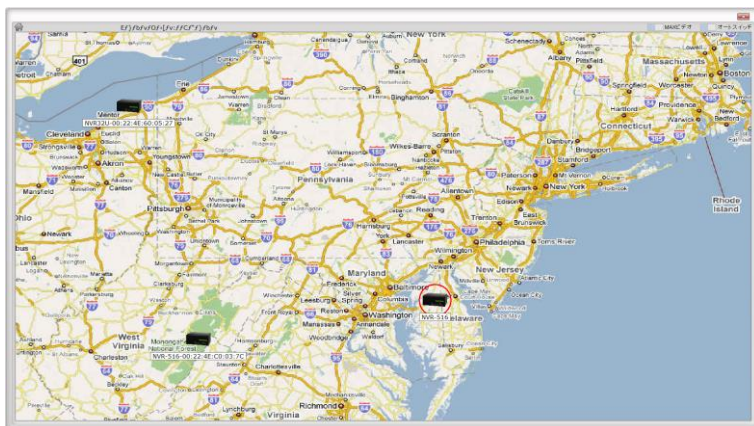


<オートスイッチ設定>

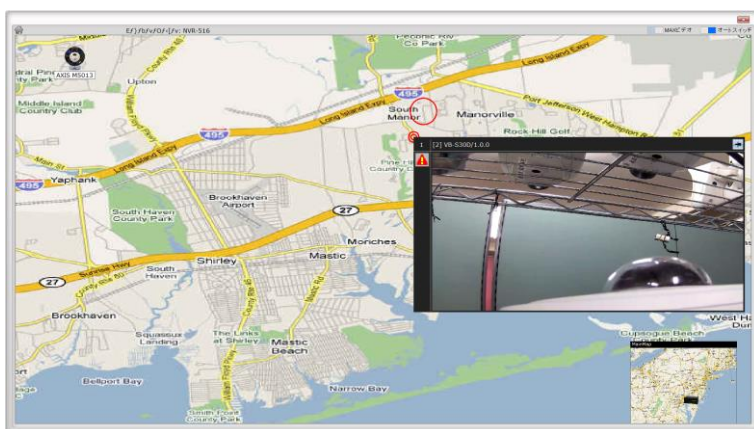


オートスイッチ設定を有効にするとイベント発生時に対象カメラの E-マップを自動的に表示します。

オートスイッチ OFF 時



オートスイッチ ON 時



## 2-2-5 SVD

本アプリではサポート外の機能です。

## 2-3 ツリー

ここでは接続されている全ての NVR とカメラをツリー表示します。



- (1) NVR をクリックするとカメラツリーが表示されます。(①)
- (2) ツリー上の NVR のアイコンを映像表示エリアにドラッグ&ドロップすると、その NVR に登録されているカメラのライブ映像が表示されます。(②)
- (3) ツリー上のカメラのアイコンを映像表示エリアの任意の場所にドラッグ&ドロップすると、そのカメラのライブ映像が表示されます。

## 2-4 パターン

ここでは独自のライブ分割表示パターンを設定します。

①分割画面パネル

②追加ボタン

分割	パターン名
4	4分割カメラ

③パターン名

- (1) 分割画面パネルで希望の分割画面を選択します。(①)
- (2) 追加ボタン[+]をクリックすると分割欄に自動で分割数が入力されます。(②)
- (3) パターン名を任意で記入し、最後に **Enter** キーを押すと確定します。(③)

※複数のパターンを登録する場合は上記手順を繰り返して登録します。



## 2-5 イベント

ここでは直近のイベント情報を確認することができます。

②リセット待機イベント

①イベントリスト

NVR	チャンネル	時間

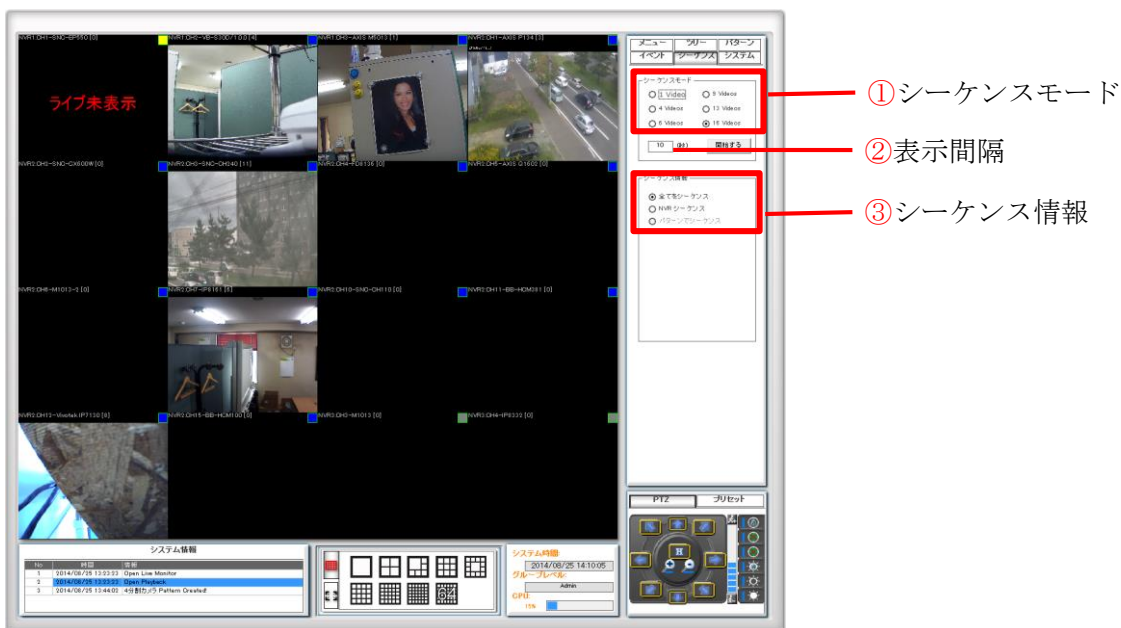
  

NVR	チャンネル	時間
1	3	08/25 13:51:09
1	3	08/25 13:50:18
1	3	08/25 13:50:17
1	3	08/25 13:40:30
1	3	08/25 13:40:14
1	3	08/25 13:39:27
1	3	08/25 13:39:19
1	3	08/25 13:39:16
1	3	08/25 13:39:14
1	3	08/25 13:39:10
1	3	08/25 13:39:04
1	3	08/25 13:39:03
1	3	08/25 13:38:58
1	3	08/25 13:38:53
1	3	08/25 13:38:52
1	3	08/25 13:38:52
1	3	08/25 13:32:29
1	3	08/25 13:32:28
1	3	08/25 13:32:26
1	3	08/25 13:32:13
1	3	08/25 13:32:12
1	3	08/25 13:32:02
1	3	08/25 13:32:01
1	3	08/25 13:31:39
1	3	08/25 13:31:38
1	3	08/25 13:31:29
1	3	08/25 13:31:27
1	3	08/25 13:31:03
1	3	08/25 13:31:01
1	3	08/25 13:31:00
1	3	08/25 13:30:49

- (1) 直近で発生したイベントを最新のものから順に表示します。(①)
- (2) 持ち去り検知などのイベントでは発生した事を確認した意味で毎回リセットを実施する必要があります(②)

## 2-6 シーケンス

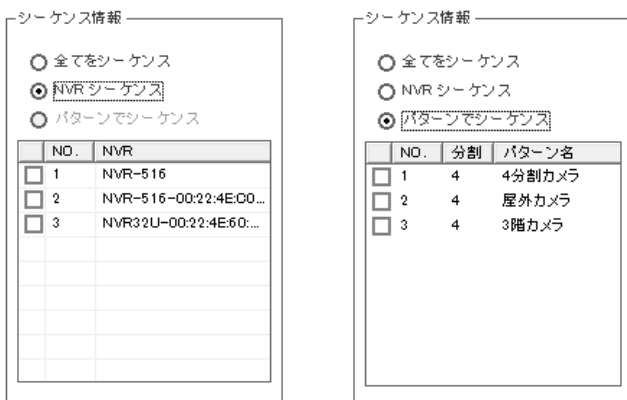
ここでは指定した時間間隔でカメラ映像を切り替えて表示させます。



- (1) 分割パターンを選択します。(①)
- (2) 表示間隔を入力します。(②)
- (3) シーケンス情報を選択します。(③)
- (4) 開始ボタンをクリックします。

※表示間隔は最大 999 秒まで入力可能です。

※シーケンス情報の内容によって NVR やパターンを個別に選択します。



※パターンでシーケンスする場合は事前にパターンを 2 つ以上登録しておく必要があります。

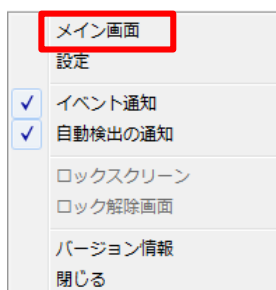
## 2-7 システム

### 2-7-1 サービスモード

「サービスモード」を選択すると、メイン画面が隠れ本ソフトウェアはバックグラウンドで稼働します。（タスクトレイ内にアイコンが表示されます）



元のメイン画面を表示する場合はタスクトレイ内のアイコンを右クリックし、メニューから「メイン画面」をクリックします。



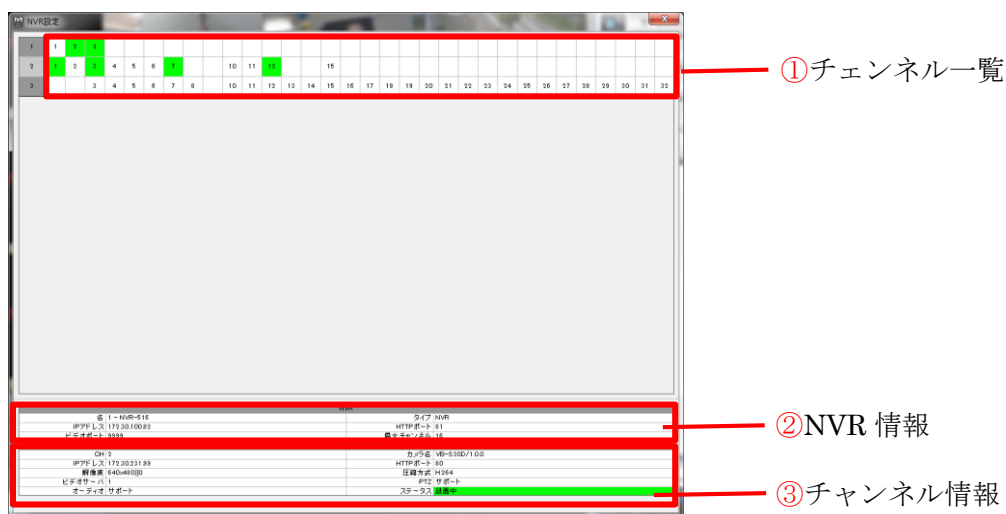
① ポップアップ表示

<右クリックメニュー>

メニュー項目	説明
メイン画面	サービスモード中からメイン画面を表示します。
設定	サービスモードセットアップウィザード画面を表示します。
イベント通知	イベント発生時にライブ映像をポップアップで表示します。(①)
自動検出の通知	NVR を自動検出した場合にポップアップで通知します。
ロックスクリーン	ロックスクリーンを起動します。
ロック解除画面	ロックスクリーンを解除します。
バージョン情報	バージョンを表示します。
閉じる	本ソフトウェアを終了します。

### 2-7-2 NVR 設定

登録されている NVR 及びチャンネル（カメラ）のステータス情報が表示されます。



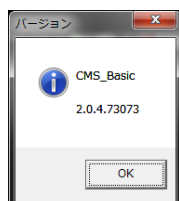
### 2-7-3 言語

本ソフトウェアの表示言語を日本語、英語、中国語などの 13 カ国語から選択できます。



### 2-7-4 バージョン

本ソフトウェアのバージョンが確認できます。



### 2-7-5 ロックスクリーン

画面のクリックが出来ないようになります。

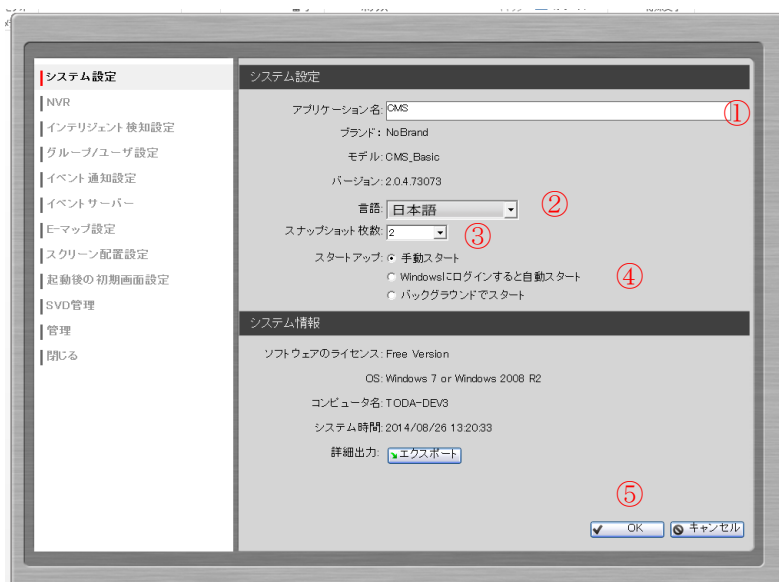
解除にはタスクトレイ内のアイコンを右クリックし「ロック解除画面」を選択してください。



### 3 セットアップウィザード（設定画面）

#### 3-1 システム設定

システム全体としての設定やシステム情報の確認を行います。

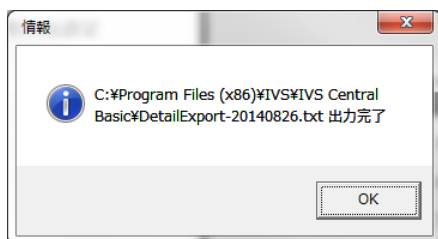


- (1) アプリケーション名を入力します。(①)
- (2) 言語を設定します。(②)
- (3) スナップショット枚数を設定します。(③)
- (4) スタートアップの動作を指定します。(④)
- (5) OK ボタンをクリックします。(⑤)

※アプリケーション名には全角文字が利用できません。

#### <システム情報の出力>

エクスポートボタンをクリックする事でシステム情報を PC に保存することができます。



### 3-2 NVR

ここでは NVR の登録、削除の操作を行います。

#### 3-2-1 NVR 自動登録

(1) [追加] ボタンをクリックします。

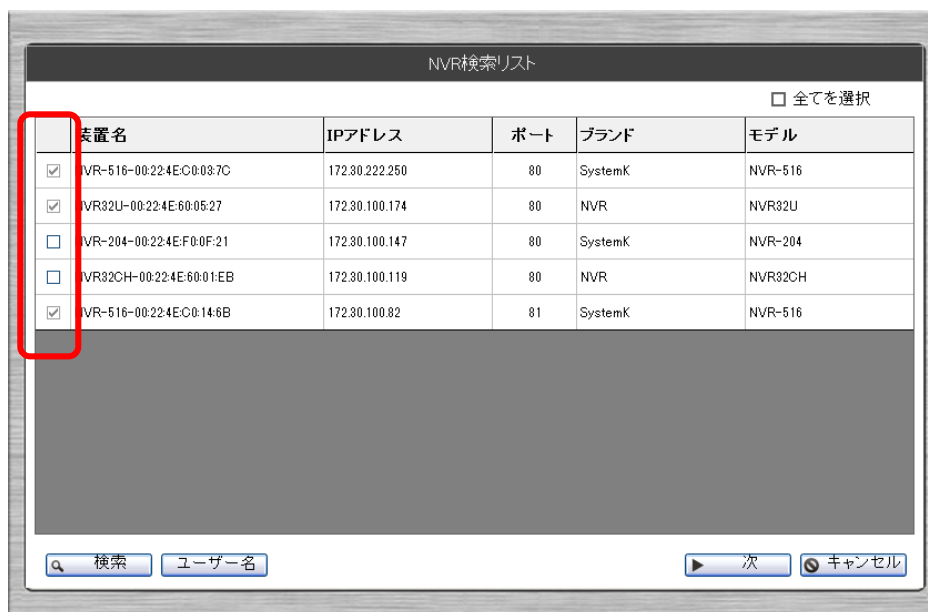


(2) [自動検索] にチェックを入れて [次] ボタンをクリックします。

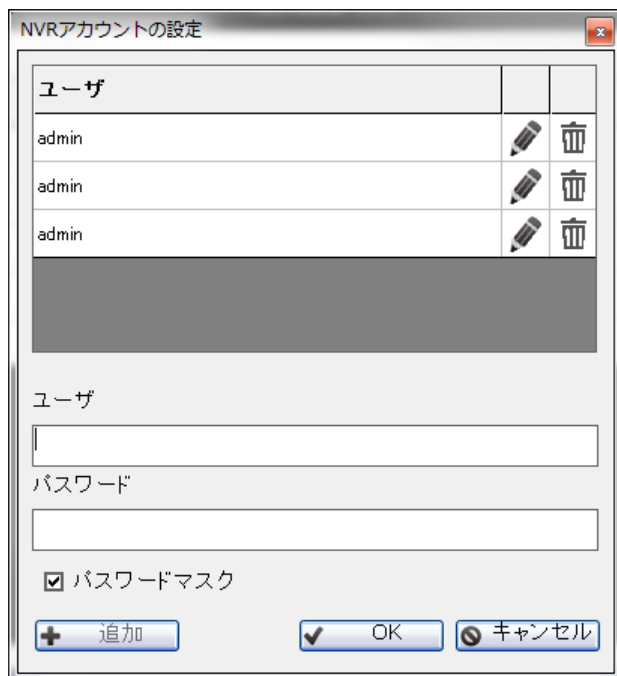
手動入力で登録する場合は [手動検出] にチェックを入れて必要情報を入力します。

The screenshot shows the '新NVRを追加' (Add New NVR) dialog box. At the top left, there are two radio buttons: '自動検索' (Automatic Search) and '手動検出' (Manual Detection). The '自動検索' radio button is selected and highlighted with a red rectangular box. Below the radio buttons are several input fields: 'NVR番号' (NVR Number) with a dropdown menu showing '1', 'NVR名' (NVR Name), 'IPアドレス' (IP Address), 'HTTPポート' (HTTP Port), 'ユーザー' (User), and 'パスワード' (Password). At the bottom right, there are two buttons: '次' (Next) and 'キャンセル' (Cancel). The '次' button is highlighted with a red rectangular box.

(3) NVR 検索リストの中から登録する NVR にチェックを入れます。

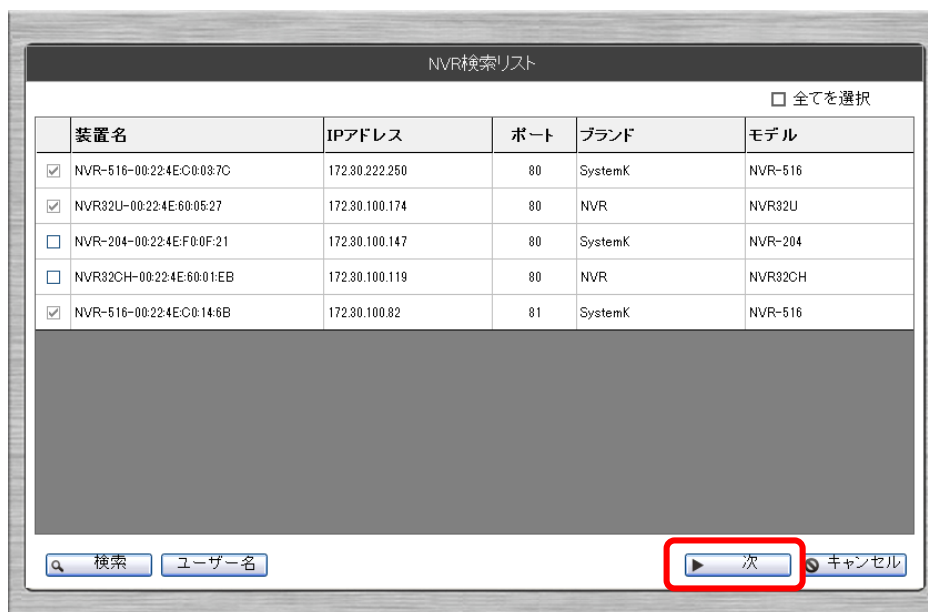


(4) [ユーザー名]ボタンをクリックして登録する全ての NVR に設定されているユーザー名、パスワードを登録します。





(5) [次]ボタンをクリックします。



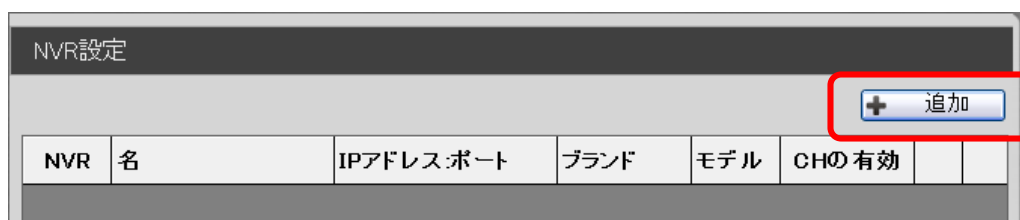
(6) ステータスが「検出成功！」となっているのを確認して[OK]ボタンをクリックします。



(7) 登録済み NVR 一覧に登録した NVR が表示されます。

### 3-2-2 NVR 手動登録

(1) [追加] ボタンをクリックします。



(2) [手動検出] にチェックを入れて必要情報を入力し [次] ボタンをクリックします。










(3) ステータスが「検出成功！」となっているのを確認して [OK] ボタンをクリックします。

装置名	IPアドレス	ポート	モデル	のCH	ステータス
NVR32U-00:22:4E:60:05:27	172.30.100.174	80	SVR600	30	検出成功!

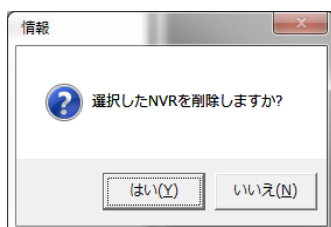
(4) 登録済み NVR 一覧に登録した NVR が表示されます。

### 3-2-3 NVR 削除

(1)  ボタンをクリックします。


NVR設定							
<a href="#">+</a> 追加							
NVR	名	IPアドレス	ポート	ブランド	モデル	CHの有効	
1	NVR-516	172.30.100.82	81	SystemK	SVR500	3	 
2	NVR-516-00:22:4E:C0:03:7C	172.30.222.250	80	SystemK	SVR500	11	 
3	NVR632	172.30.100.174	80	NVR	SVR600	30	 

(2) 確認メッセージが表示されるので[はい]をクリックします。





※DDNS サービスによるドメイン名を入力する場合は「**http://**」並びに末尾の「/」（スラッシュ）を省いて下さい。誤って入力するとエラーメッセージが表示されます。

### 3-2-4 カメラ設定変更

(1) NVR 一覧の  ボタンをクリックします。

NVR設定

+ 追加

NVR	名	IPアドレス:ポート	ブランド	モデル	CHの有効		
1	NVR-516	172.30.100.82:81	SystemK	SVR500	3		
2	NVR-516-00:22:4E:C0:03:7C	172.30.222.250:80	SystemK	SVR500	11		
3	NVR632	172.30.100.174:80	NVR	SVR600	30		

(2) チャンネル一覧の  ボタンをクリックします。

NVRの詳細設定

NVR番号:  NVR名:

IPアドレス:  HTTPポート:

モデル:  バージョン:

最大チャンネル:  有効なチャンネル:

ユーザー:  パスワード:

チャンネル詳細

チャンネル	IPアドレス	ポート	カメラ名		
1	172.30.213.33	80	SNC-EP550		
2	172.30.231.99	80	VB-S30D/1.0.0		
3	172.30.231.21	80	AXIS M5013		
4					
5					

検出  OK  キャンセル

(3) 必要情報を入力して [OK] ボタンをクリックします。

NVRチャンネル設定

カメラ番号  ユーザ

カメラ名  パスワード

カメラIP

HTTPポート


ビデオサーバ  FPS

圧縮方式  ビットレート

解像度


検索 検出 プリセット編集 P.SEQ  OK  キャンセル

### 3-2-5 カメラ新規登録

(1) NVR 一覧の  ボタンをクリックします。

NVR設定

+ 追加

NVR	名	IPアドレス:ポート	ブランド	モデル	CHの有効		
1	NVR-516	172.30.100.82:81	SystemK	SVR500	3		
2	NVR-516-00:22:4E:C0:03:7C	172.30.222.250:80	SystemK	SVR500	11		
3	NVR632	172.30.100.174:80	NVR	SVR600	30		

(2) チャンネル一覧の未登録チャンネルの  ボタンをクリックします。

NVRの詳細設定

NVR番号:  NVR名:

IPアドレス:  HTTPポート:

モデル:  バージョン:

最大チャンネル:  有効なチャンネル:

ユーザー:  パスワード:

チャンネル詳細

チャンネル	IPアドレス	ポート	カメラ名		
1	172.30.213.33	80	SNC-EP550		
2	172.30.231.99	80	VB-S30D/1.0.0		
3	172.30.231.21	80	AXIS M5013		
4					
5					

(3) カメラ情報を入力して[検出]ボタンをクリックします。

NVRチャンネル設定

カメラ番号:  ユーザ:

カメラ名:  パスワード:

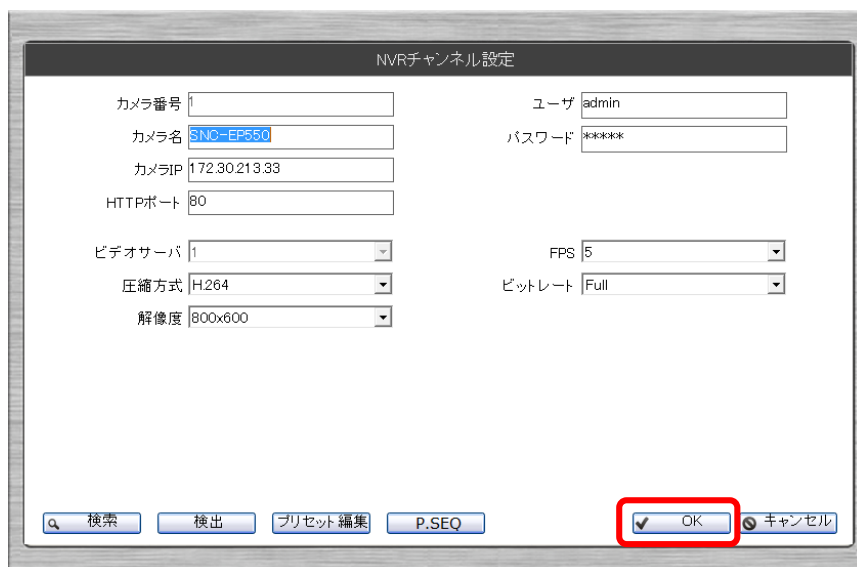
カメラIP:

HTTPポート:

(4) カメラ情報を入力して[検出]ボタンをクリックします。

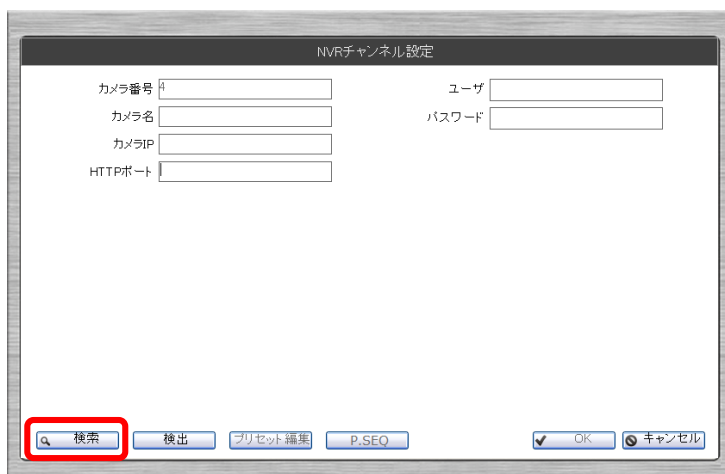


(5) 必要情報を入力して[OK]ボタンをクリックします。



※カメラ情報を入力する方法としてネットワーク上にあるカメラを検索して自動入力することも可能です。

[検索]ボタンをクリックします。



## 統合管理ソフト（CMS）操作説明書


一覧から登録するカメラをダブルクリックします。



IPアドレス	ブランド	モデル	HTTPポート
172.30.231.206	Canon	VB-H710F/1.0.0	80
172.30.231.111	Panasonic	SW172	80
172.30.213.33	SONY	SNC-EP550	80
172.30.100.126	Vivitek	JP8332	80
172.30.231.99	Canon	VB-S30D/1.0.0	80
172.30.100.112	Vivitek	JP8332	80
172.30.100.204	Panasonic	BB-HCM511	80
172.30.213.107	ONVIF	IPC	80
172.30.100.197	AXIS	M1013	80
172.30.213.108	ONVIF	IPC	80
172.30.213.21	Vivitek	JP7130	80
172.30.100.122	AXIS	M5013	80


カメラ情報が自動入力されます。(ユーザー名、パスワードは別途入力が必要)

カメラ番号	4	ユーザ	
カメラ名	M1013	パスワード	
カメラIP	172.30.100.197		
HTTPポート	80		

### 3-2-6 カメラ削除

(1) NVR 一覧の  ボタンをクリックします。

NVR設定							+ 追加	
NVR	名	IPアドレス:ポート	ブランド	モデル	CHの有効			
1	NVR-516	172.30.100.82:81	SystemK	SVR500	3			
2	NVR-516-00:22:4E:C0:03:7C	172.30.222.250:80	SystemK	SVR500	11			
3	NVR632	172.30.100.174:80	NVR	SVR600	30			


(2) チャンネル一覧の削除するカメラの  ボタンをクリックします。

NVRの詳細設定					
NVR番号:	<input type="text" value="1"/>	NVR名:	<input type="text" value="NVR-516"/>		
IPアドレス:	<input type="text" value="172.30.100.82"/>	HTTPポート:	<input type="text" value="81"/>		
モデル:	<input type="text" value="SVR500"/>	バージョン:	<input type="text" value="2.1.1 SK.30070802"/>		
最大チャンネル:	<input type="text" value="16"/>	有効なチャンネル:	<input type="text" value="3"/>		
ユーザー:	<input type="text" value="admin"/>	パスワード:	<input type="text" value="*****"/>		
チャンネル詳細					
チャンネル	IPアドレス	ポート	カメラ名		
1	172.30.213.33	80	SNC-EP550		
2	172.30.231.99	80	VB-S30D/1.0.0		
3	172.30.231.21	80	AXIS M5013		
4					
5					

検索


(3) 確認画面で[はい]をクリックします。

Notice

 このボタンを押すと、NVRのデーターを削除・変更します。







### 3-2-7 プリセット設定

(1) NVR 一覧の  ボタンをクリックします。

NVR設定

+ 追加

NVR	名	IPアドレス:ポート	ブランド	モデル	CHの有効		
1	NVR-516	172.30.100.82:81	SystemK	SVR500	3		
2	NVR-516-00:22:4E:C0:03:7C	172.30.222.250:80	SystemK	SVR500	11		
3	NVR632	172.30.100.174:80	NVR	SVR600	30		

(2) チャンネル一覧の  ボタンをクリックします。

NVRの詳細設定

NVR番号:  NVR名:

IPアドレス:  HTTPポート:

モデル:  バージョン:

最大チャンネル:  有効なチャンネル:

ユーザー:  パスワード:

チャンネル詳細

チャンネル	IPアドレス	ポート	カメラ名		
1	172.30.213.33	80	SNC-EP550		
2	172.30.231.99	80	VB-S30D/1.0.0		
3	172.30.231.21	80	AXIS M5013		
4					
5					

検出  OK  キャンセル

(3) [プリセット編集]ボタンをクリックします。

NVRチャンネル設定

カメラ番号  ユーザ

カメラ名  パスワード

カメラIP

HTTPポート

ビデオサーバ  FPS

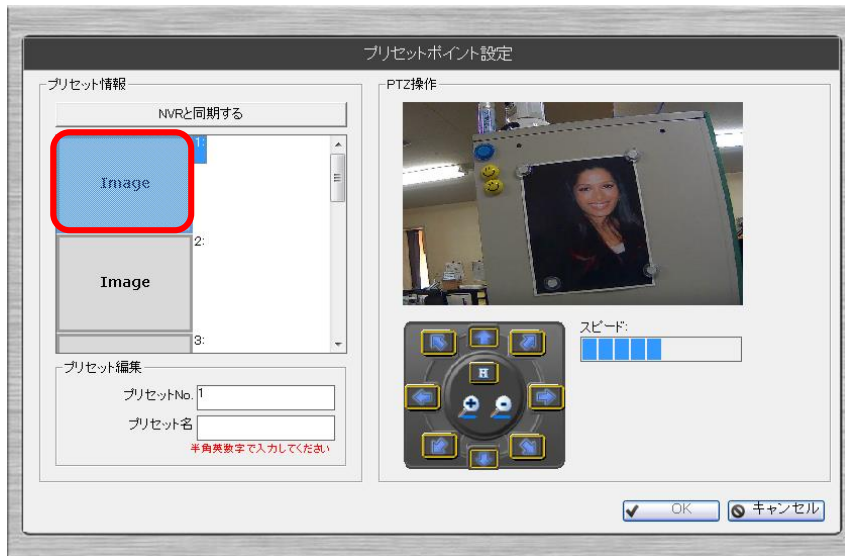
圧縮方式  ビットレート

解像度

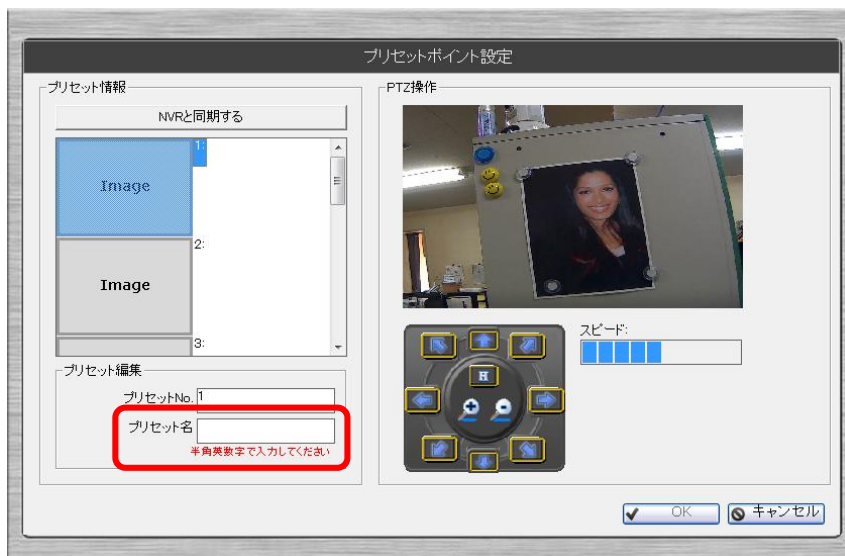
検索  検出  **プリセット編集**  P.SEQ

OK  キャンセル

(4) 登録先のプリセット番号をクリックします。



(5) プリセット名を入力します。



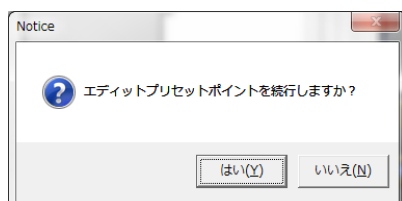
(6) PTZ コントロールパネルを使って移動先を確定します。




(7) [OK] ボタンをクリックします。



(8) 引き続きプリセット登録を行う場合は[はい]ボタンをクリックします。  
終了する場合は[いいえ]ボタンをクリックします。





### 3-2-8 プリセットシーケンス設定

(1) NVR 一覧の  ボタンをクリックします。

NVR設定

+ 追加

NVR	名	IPアドレス:ポート	ブランド	モデル	CHの有効		
1	NVR-516	172.30.100.82:81	SystemK	SVR500	3		
2	NVR-516-00:22:4E:C0:03:7C	172.30.222.250:80	SystemK	SVR500	11		
3	NVR632	172.30.100.174:80	NVR	SVR600	30		

(2) チャンネル一覧の  ボタンをクリックします。

NVRの詳細設定

NVR番号:  NVR名:

IPアドレス:  HTTPポート:

モデル:  バージョン:

最大チャンネル:  有効なチャンネル:

ユーザー:  パスワード:

チャンネル詳細

チャンネル	IPアドレス	ポート	カメラ名		
1	172.30.213.33	80	SNC-EP550		
2	172.30.231.99	80	VB-S30D/1.0.0		
3	172.30.231.21	80	AXIS M5013		
4					
5					

検出  OK  キャンセル

(3) [P. SEQ] ボタンをクリックします。

NVRチャンネル設定

カメラ番号:  ユーザ:

カメラ名:  パスワード:

カメラIP:  HTTPポート:

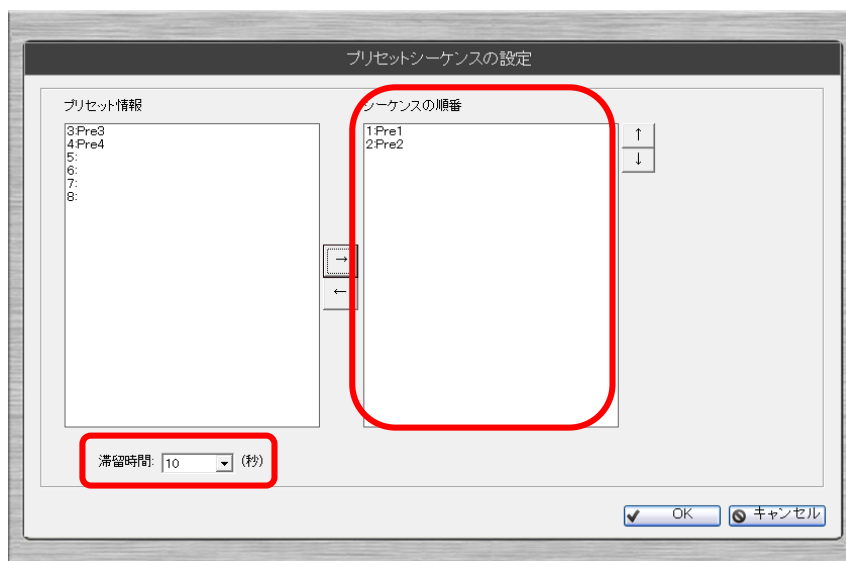
ビデオサーバ:  FPS:

圧縮方式:  ビットレート:

解像度:

検索     OK

(4) プリセット実行順に登録し、滞留時間を設定して[OK]ボタンをクリックします。



### 3-3 インテリジェント検知設定

ここではモーション検知などのインテリジェント機能の設定を行います。

※付録ページにインテリジェント機能の注意事項が記載されています。

設定前に一度ご確認ください。



#### 3-3-1 モーション検知

(1) [追加] ボタンをクリックします。



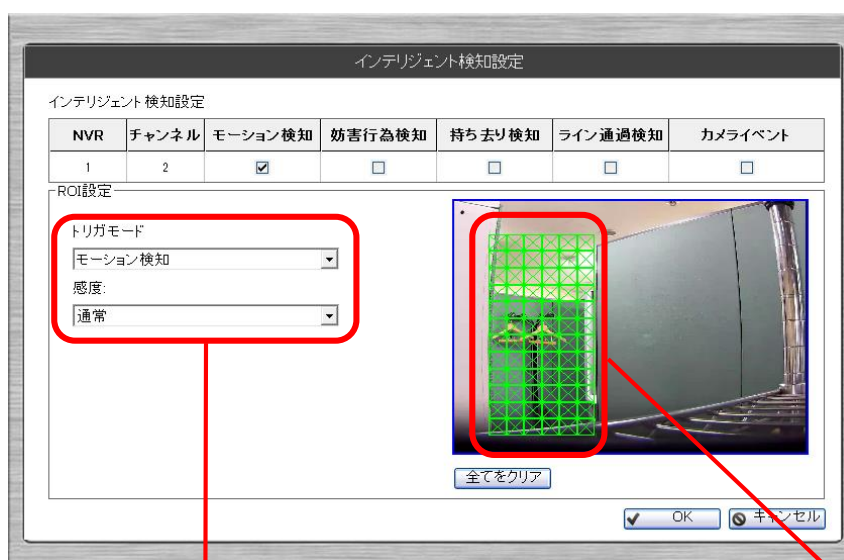
(2) 選択した NVR のチャンネル一覧から のチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。



(3) 登録したチャンネルの  ボタンをクリックします。



(4) モーション検知の設定を行い[OK]ボタンをクリックします。



トリガーモードを「モーション検知」に設定し、感度を設定します。

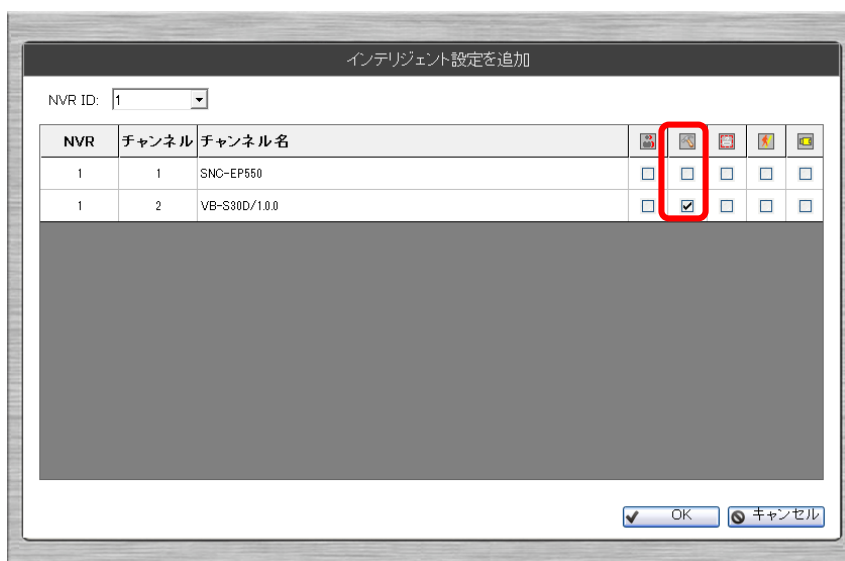
モーション検知するエリアをマウスのドラッグ&ドロップ操作で設定します。

### 3-3-2 妨害行為検知

(1) [追加] ボタンをクリックします。



(2) 選択した NVR のチャンネル一覧から  のチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。

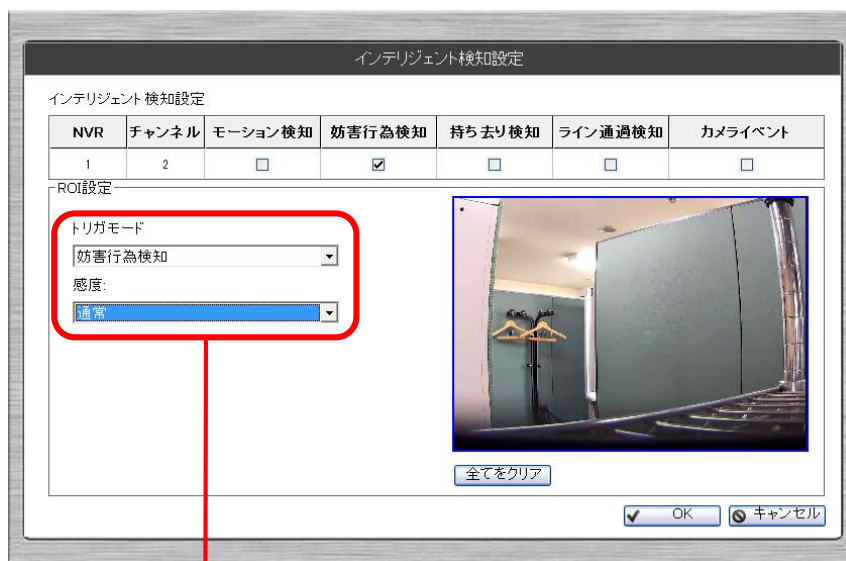


(3) 登録したチャンネルの  ボタンをクリックします。





(4) 妨害行為検知の設定を行い[OK]ボタンをクリックします。



トリガーモードを「妨害行為検知」に設定し、感度を設定します。

### 3-3-3 持ち去り検知

(1) [追加] ボタンをクリックします。



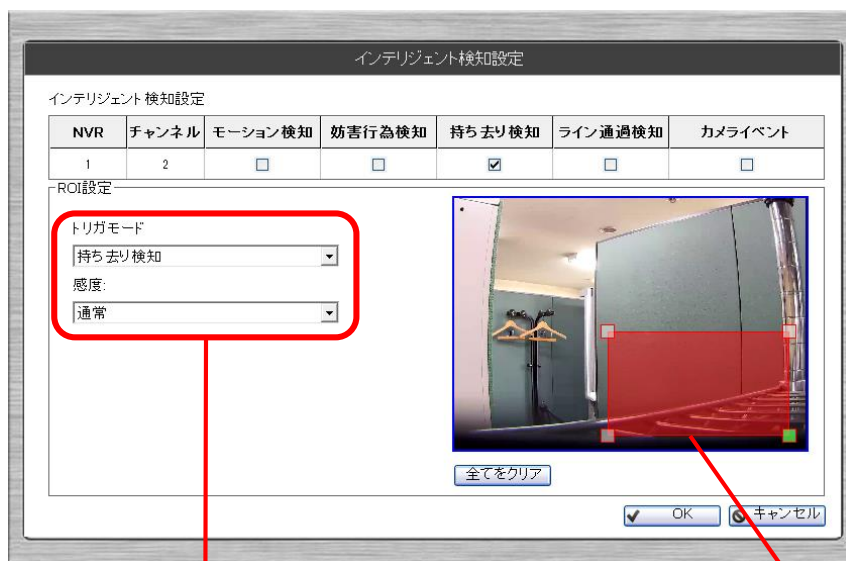
(2) 選択した NVR のチャンネル一覧から  のチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。



(3) 登録したチャンネルの  ボタンをクリックします。



(4) 妨害行為検知の設定を行い[OK]ボタンをクリックします。



トリガーモードを「持ち去り検知」に設定し、感度を設定します。

持ち去り検知するエリアをマウスのドラッグ&ドロップ操作で設定します。

※エリアの最小範囲は決まっており、最小範囲より小さく設定出来ないようになっておりますのでご注意ください。

### 3-3-4 ライン通過検知

(1) [追加] ボタンをクリックします。



(2) 選択した NVR のチャンネル一覧から  のチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。



(3) 登録したチャンネルの  ボタンをクリックします。



(4) 妨害行為検知の設定を行い[OK]ボタンをクリックします。

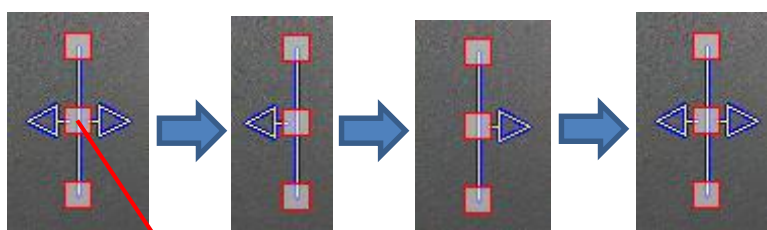


トリガーモードを「ライン通過検知」に設定し、感度を設定します。

ライン通過検知するラインをマウスのドラッグ&ドロップ操作で設定します。

※ラインの最小範囲は決まっており、最小範囲より小さく設定出来ないようになっておりますのでご注意ください。

※ラインの中央の■部分をクリックすると検知方向を片方向にすることができます。



クリックする

### 3-3-5 カメライベント

(1) [追加] ボタンをクリックします。



(2) 選択した NVR のチャンネル一覧から  のチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。



### 3-4 グループ/ユーザー設定

ここではグループ権限およびユーザー登録を行います。

#### 3-4-1 グループ権限設定

(1) グループ権限を設定する  ボタンをクリックします。

グループ概要					
グループ	ライブモニター	設定	エクスポート	SVD	
Admin	✓	✓	✓	✓	
Guest	✓	✓	✗	✗	
User1	✓	✗	✗	✗	
User2	✓	✗	✗	✗	
User3	✓	✗	✗	✗	
User4	✓	✗	✗	✗	
User5	✓	✗	✗	✗	

(2) 必要情報を入力して [OK] ボタンをクリックします。

特権の設定

グループ名

ライブモニター

セットアップ

エクスポート

SVD

NVR権限の設定  すべて

NVR	IP	
1	NVR-516	
2	NVR-516-00:22:4E:C0:03:7C	
3	NVR32U-00:22:4E:60:05:27	

OK     キャンセル

※Admin グループは設定変更することはできません。

※各グループ権限は以下ようになります。

権限項目	説明
ライブモニター	メイン画面にログインする権限
セットアップ	セットアップウィザードにログインする権限
エクスポート	システムログやイベント情報をエクスポートする権限
SVD	SVD 機能を利用する権限 <b>※この機能はサポート外です</b>

### 3-4-2 ユーザー登録

(1) [追加] ボタンをクリックします。



(2) ユーザー名、パスワード、グループおよび必要情報を入力して[OK] ボタンをクリックします。

A screenshot of a 'ユーザ設定' (User Settings) dialog box. On the left, there is a '写真' (Photo) field with a silhouette icon and a red note '(ダブルクリックして設定)'. Below it is a red note '\*入力必須項目'. On the right, there are several input fields: '\*ユーザ名' (User Name), '\*パスワード' (Password), '\*パスワードの確認' (Confirm Password), 'グループ' (Group) with a dropdown menu showing 'Admin', '会社' (Company), '電話' (Phone), '携帯電話' (Mobile Phone), 'メール 1' (Email 1), and 'メール 2' (Email 2). There are '確認' (Confirm) and 'OK' buttons at the bottom right.

※登録ユーザーの一人目は自動的に Admin グループのユーザーになります。





※登録ユーザーに任意のグループを割り当てるには二人目以降からとなります。

※ユーザーが 1 人も登録されていない場合、メイン画面およびセットアップウィザード画面起動時にログイン画面が表示されません。




### 3-4-3 ユーザー更新

(1) 対象ユーザーの  をクリックします。





ユーザーの概要			
+ 追加			
名	グループ		
admin	Admin		
oda	User1		

(2) ユーザー名、パスワード、グループおよび必要情報を入力して[OK] ボタンをクリックします。

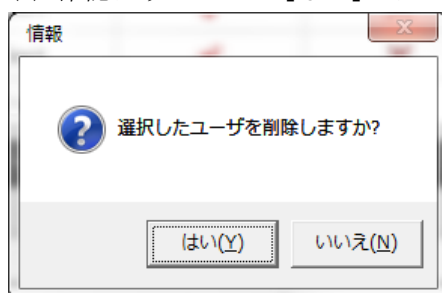
ユーザ設定	
写真 (ダブルクリックして設定)	*ユーザ名 oda <input type="button" value="確認"/>
  *入力必須項目	*パスワード ***
	*パスワードの確認 ***
	グループ User1
	会社 <input type="text"/>
	電話 <input type="text"/>
	携帯電話 <input type="text"/>
メール 1 <input type="text"/>	
メール 2 <input type="text"/>	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

### 3-4-4 ユーザー削除

(1) 対象ユーザーの  をクリックします。

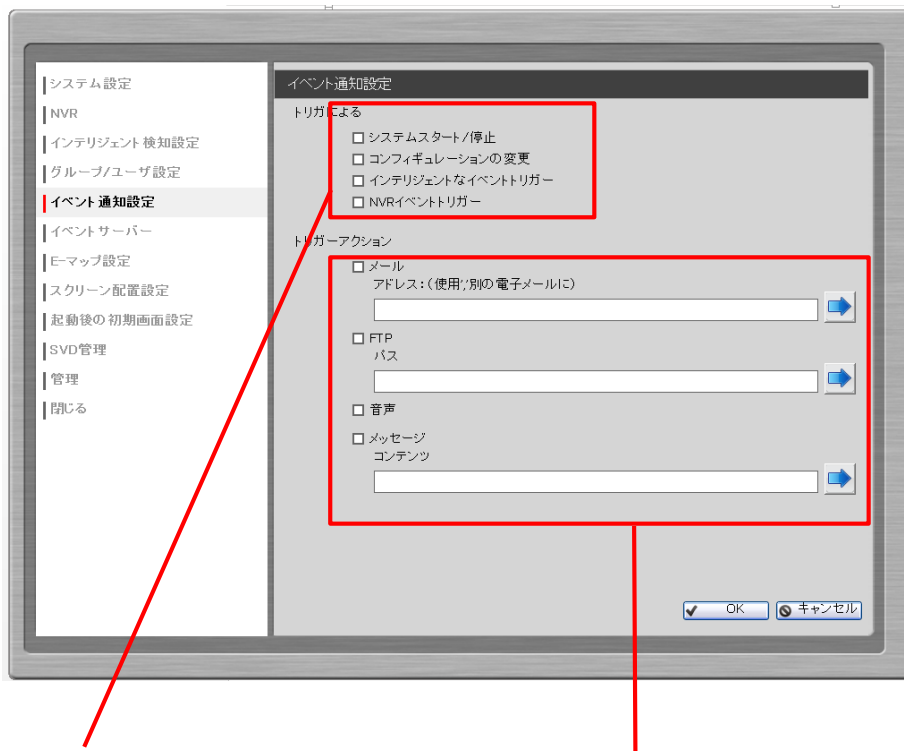
ユーザーの概要			
+ 追加			
名	グループ		
admin	Admin		
oda	User1		

(2) 確認メッセージで[はい]ボタンをクリックします。



### 3-5 イベント通知設定

ここでは本ソフトと NVR でイベントが発生したときの動作を登録します。



イベントが発生させる元となるトリガーを設定します

イベントが発生した場合の動作を設定します

<トリガー内容>

項目	説明
システムスタート / 停止	本ソフトのスタート、終了時にイベントが発生します
コンフィギュレーションの変更	セットアップウィザードで設定を変更した場合にイベントが発生します。
インテリジェントなイベントトリガー	インテリジェント機能が動作した場合にイベントが発生します。
NVR イベントトリガー	NVR 側のイベント設定と連動してイベントが発生します。

<トリガーアクション>



項目	説明
メール	イベント発生時に送信するメールアドレスを入力します。 例 : aaa@aaa.co.jp, bbb@bbb.co.jp
FTP	イベント発生時に送信する FTP サーバーのフォルダを入力します。 例 : /Folder
音声	イベント発生時に音声を再生します。
メッセージ	イベント発生時に送信するメッセージ (テキスト) を入力します。

### 3-6 イベントサーバー

ここでは各イベントを実施するサーバーを設定します。

#### 3-6-1 メールサーバー

(1) メールサーバーの  ボタンをクリックします。

メールサーバ			
項目	メールサーバ	サーバポート	ユーザ
1			
2			




(2) 必要情報を入力して [OK] ボタンをクリックします。



※[テスト]ボタンをクリックすると入力した情報でテスト送信します。

### 3-6-2 FTP サーバー

(1) FTP サーバーの  ボタンをクリックします。

FTP設定			
項目	サーバIP	サーバポート	
1			
2			
3			

(2) 必要情報を入力して [OK] ボタンをクリックします。




FTP設定

FTP設定	パス
サーバIP <input type="text"/>	パス <input type="text"/>
サーバポート <input type="text"/>	
ユーザ <input type="text"/>	
パスワード <input type="password"/>	
	<input type="button" value="テスト"/>
	<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

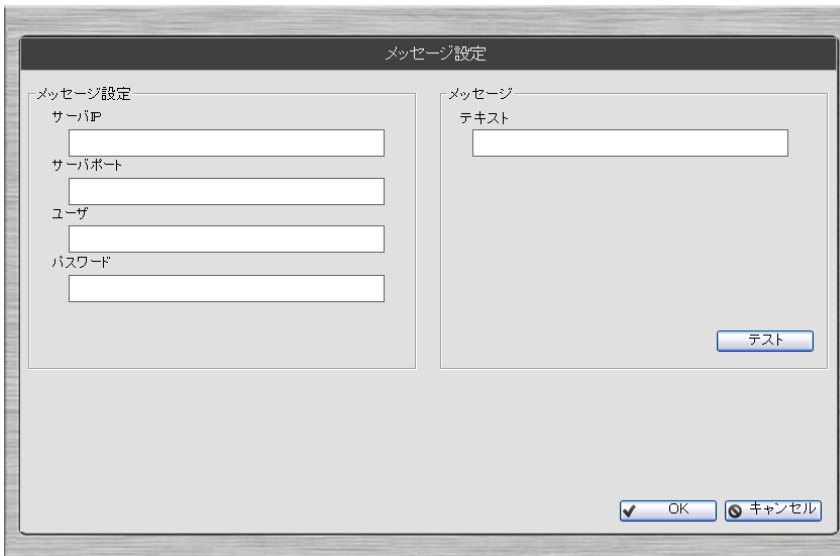
※[テスト]ボタンをクリックすると入力した情報でテスト送信します。

### 3-6-3 メッセージ設定

(1) メッセージ設定の  ボタンをクリックします。

メッセージ設定			
項目	サーバIP	サーバポート	
1			
2			
3			

(2) 必要情報を入力して [OK] ボタンをクリックします。



メッセージ設定

メッセージ設定

サーバIP

サーバポート

ユーザ

パスワード

メッセージ


テキスト


テスト

OK キャンセル

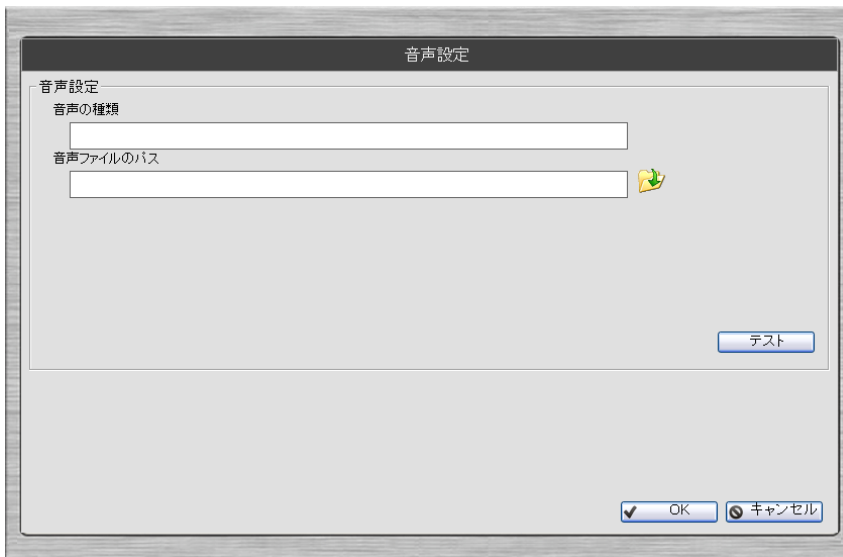
※[テスト]ボタンをクリックすると入力した情報でテスト送信します。

### 3-6-4 音声設定

(1) 音声設定の  ボタンをクリックします。

音声設定			
項目	音声の種類	音声ファイルのパス	
1			

(2) 必要情報を入力して [OK] ボタンをクリックします。



音声設定

音声の種類

音声ファイルのパス

テスト

OK キャンセル

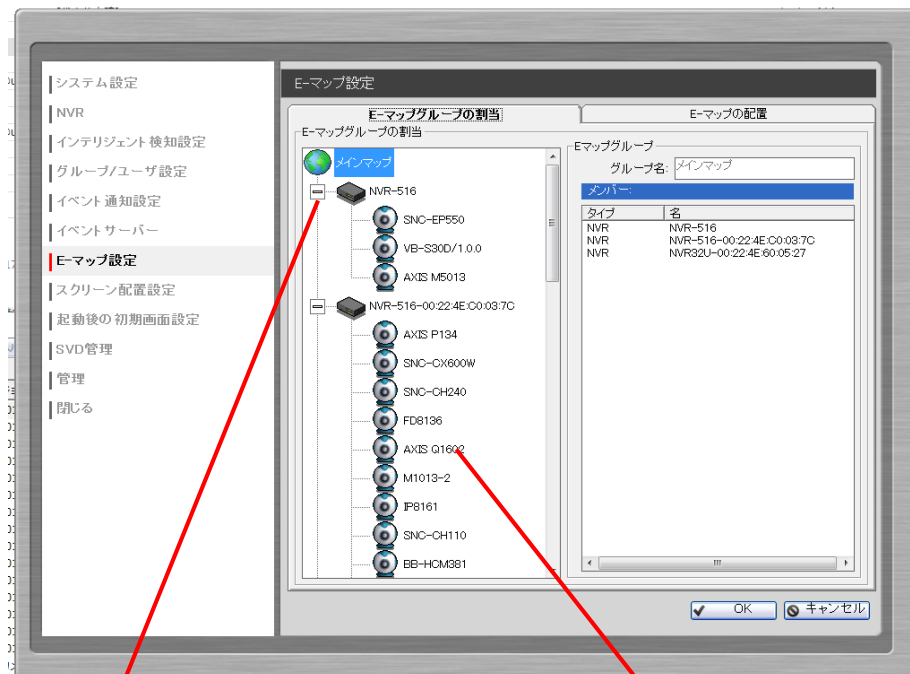
※音声の種類には「wav」などのように記入します。

※[テスト]ボタンをクリックすると入力した情報でテスト再生します。



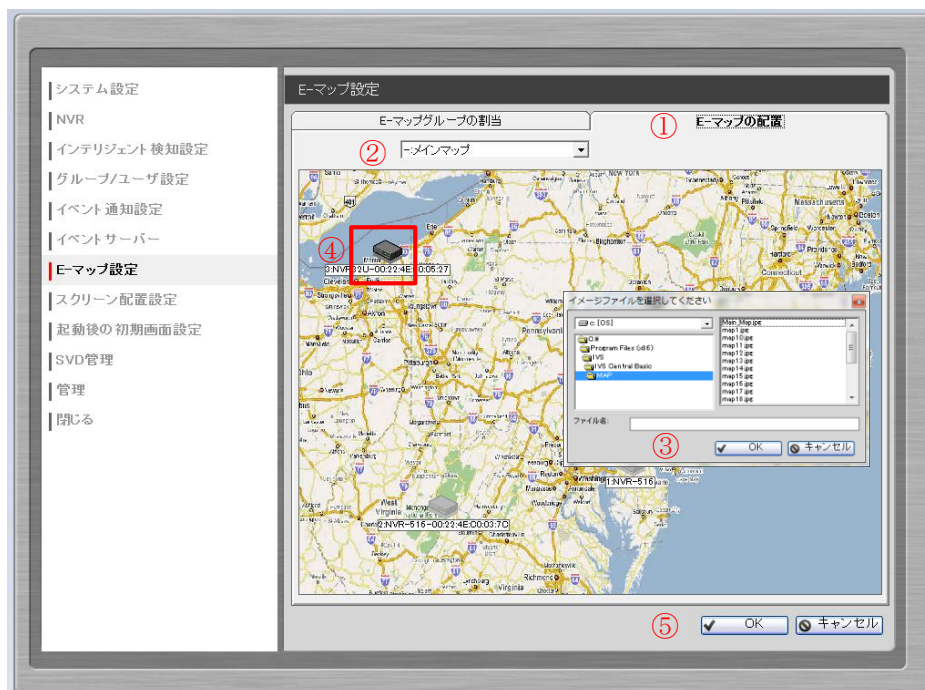
### 3-7 E-マップ設定

ここでは E-マップの画像および NVR、カメラの位置を設定します。



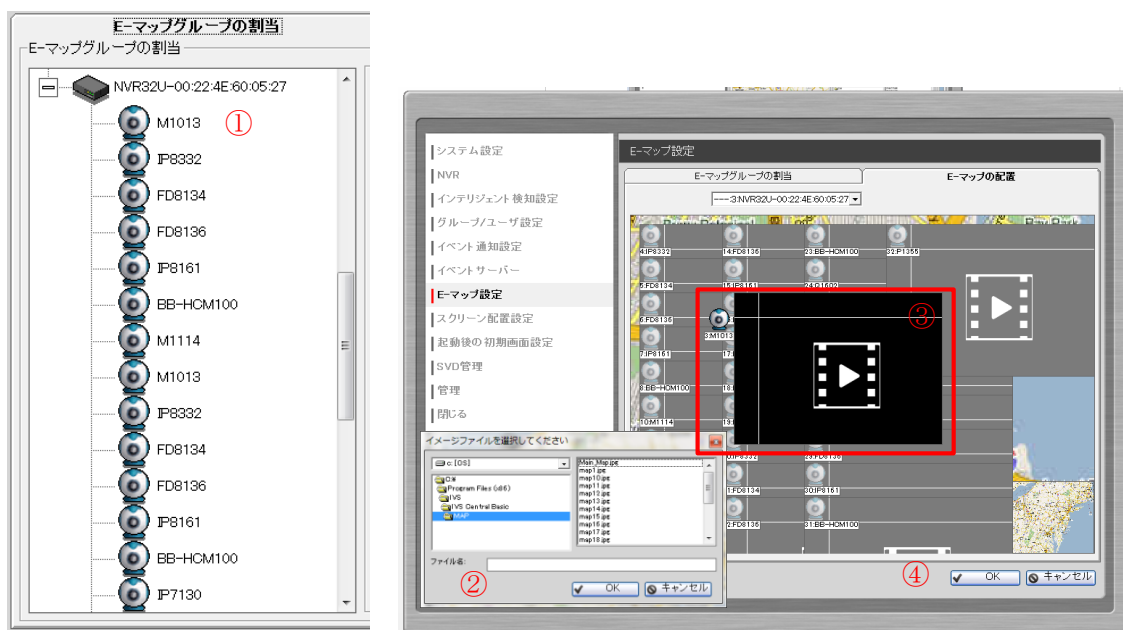
NVR のグループをクリックすると登録されたチャンネルが表示されます。

チャンネルをダブルクリックすると配置画面へ移動します。



<NVR の位置を設定する>

- (1) E-マップの配置タブをクリックします。(①)
- (2) メインマップを選択します。(②)
- (3) マップ上でマウスをダブルクリックします。
- (4) 登録する画像を指定します。(③)
- (5) NVR アイコンをドラッグ&ドロップして場所を設定します。(④)
- (6) OK ボタンをクリックします。(⑤)



<カメラの位置を設定する>

- (1) カメラアイコンをダブルクリックします。(①)
- (2) マップ上でマウスをダブルクリックします。
- (3) 登録する画像を指定します。(②)
- (4) カメラアイコン、映像表示エリアをドラッグ&ドロップして場所を設定します。  
(③)
- (5) OK ボタンをクリックします。(④)

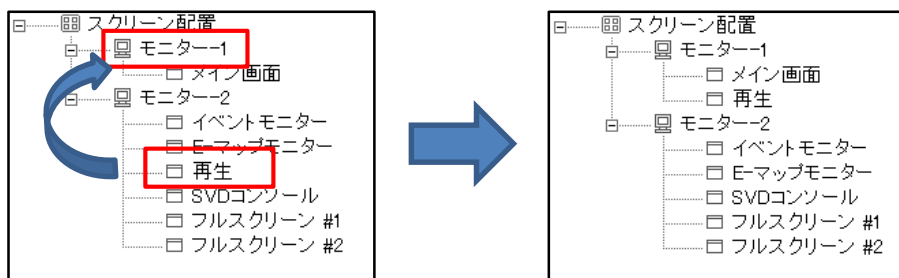
※上記手順を繰り返して各カメラの設置位置を設定します。

### 3-8 スクリーン配置設定

本ソフトをインストールしている PC に複数台のモニターを接続するとマルチモニターの機能が設定できます。



表示場所を変更するアイテムをドラッグ&ドロップで移動させます。



※メイン画面はモニター1のみ選択可能で、モニターは4台まで登録可能です。

※フルスクリーンは1、2のみです。

### 3-9 起動後の初期画面設定

ここでは起動後の初期画面の設定をします。



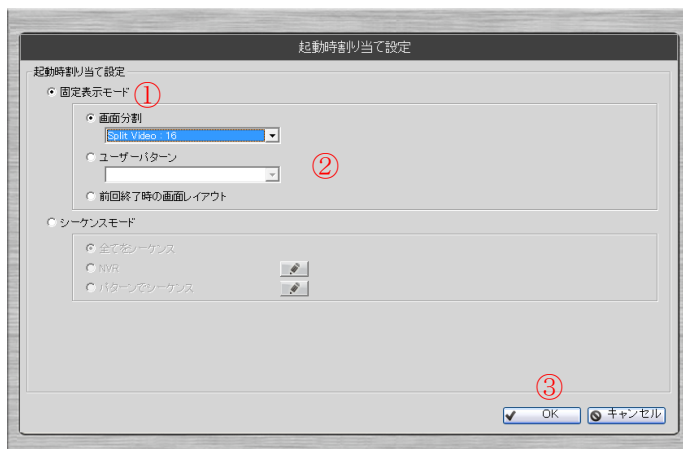
本ソフトをインストールしている PC に複数台のモニターを接続するとマルチモニターの機能が設定できます。

#### <モニターが 2 台接続している場合>

- (1) 本ソフト起動時にモニター1 で表示する画面を設定します。(①)
- (2) 本ソフト起動時にモニター2 で表示する画面を設定します。(②)
- (3) OK ボタンをクリックします。(③)

※モニターは 4 台まで登録可能です。

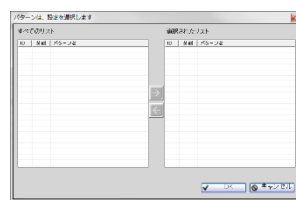
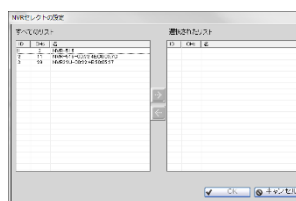
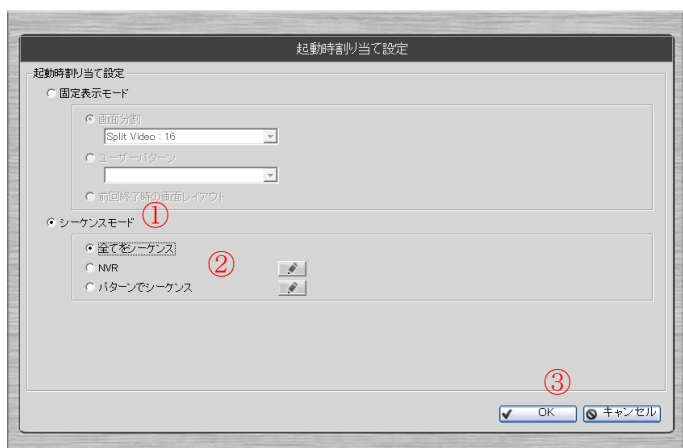
<ライブモニター設定（固定表示モード）>



- (1) 固定表示モードを選択します。(1)
- (2) 表示する画面レイアウトを選択します。(2)
- (3) OK ボタンをクリック (3)

※ユーザーパターン項目はメイン画面の「パターン」で登録していないと表示されません。

<ライブモニター設定（シーケンス表示モード）>

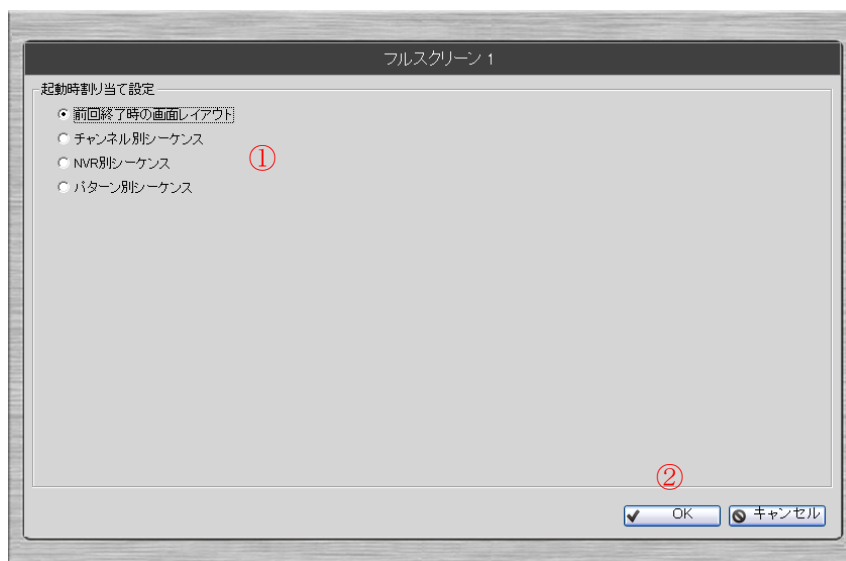


- (1) シーケンスモードを選択します。(1)
- (2) 表示するシーケンスタイプを選択します。(2)
- (3) OK ボタンをクリック (3)

※シーケンスタイプに「NVR」を設定すると設定画面より詳細設定が可能です。(4)

※シーケンスタイプに「パターンでシーケンス」を設定すると設定画面より詳細設定が可能です。(5)

<フルスクリーン設定>



フルスクリーンでの起動時割り当て動作を選択します。(①)

OK ボタンをクリック (②)

※フルスクリーン 1、2 それぞれで設定できます。

### 3-10 SVD 画面

本アプリではサポート外の機能です。

### 3-11 管理

#### 3-11-1 イベント情報

ここではイベント情報の出力を行います。



- (1) NVR を選択します。(①)
- (2) 必要に応じて時間範囲を設定します。(②)
- (3) 必要に応じてイベントの種類を設定します。(③)
- (4) エクスポートフォーマットを選択します。(④)
- (5) エクスポートボタンをクリックします。(⑤)

※NVR の選択を「全てを選択」にするとイベントの種類は選択できません。(全てのイベントが対象になります)



### 3-11-2 システムログ

ここではシステムログの表示や出力を行います。

#### <システムログビューアー>

システムログ表示

時間	ユーザ	詳細
08/26 15:53:19	Anonymous_Freuser	Modify Setting of User Group
08/26 15:52:08	Anonymous_Freuser	Modify Setting of User Group
08/26 15:35:41	Anonymous_Freuser	Modify Setting of User Group
08/26 15:35:36	admin	Open Setup Wizard
08/26 15:34:38	oda	Close Setup Wizard
08/26 15:34:31	oda	Modify Setting of User Group
08/26 15:34:09	oda	Open Setup Wizard
08/26 15:33:53	oda	Close Setup Wizard
08/26 15:33:40	oda	Modify Setting of User Group
08/26 15:33:22	oda	Open Setup Wizard
08/26 15:32:57	admin	Close Setup Wizard

① 先頭 前 次 1/7 ② 検索 キャンセル

条件

時間範囲

開始時刻: 2014/08/25 18:40:20

終了時刻: 2014/08/26 18:40:20

ユーザー: admin

OK キャンセル

(1) ページ操作ボタンでページ切り替えを行います。(①)

(2) 検索条件を入力して絞り込み検索を行います。(②)

<システムログのエクスポート>

システムログのエクスポート

条件

時間範囲: ①  
開始時刻: 2014/8/25 18:46:22  
終了時刻: 2014/8/26 18:46:22

ユーザー: ② admin

エクスポートフォーマット:  MDB  CSV ③

④

- (1) 時間範囲を設定します。(①)
- (2) ユーザーを選択します。(②)
- (3) エクスポートフォーマットを選択します。(③)
- (4) エクスポートボタンをクリックします。(④)

## 4 付録

### 4-1 インテリジェント機能の種類

インテリジェント機能	動作内容	検知エリア・ラインの設定
モーション検知	エリア内で動きがあったとき アラート発生	検知エリアの設定
妨害行為検知	カメラを妨害したときアラート発生 (例) ・視角の変更 ・スプレーの吹きつけ ・布等でカメラを覆う	エリア設定なし
持ち去り検知	対象物が指定エリアから移動したときにアラート発生	対象物のエリア設定
ライン通過検知	仮想ラインを超えたときアラート発生	検知ラインの設定

### 4-2 インテリジェント機能の制限事項、設定時の注意事項

インテリジェント機能はライブ監視の補助をする機能です。

設置環境の状況（人及び車両等の混雑具合及び特に屋外における光量の変化）、設定方法により誤動作を生ずることがあります。

尚、本機能は 100%の検知を保証するものではありません。

#### <モーション検知>

モーション検知機能は、設定エリアを人、車両等が通過したときに検知します。

カメラ設置後に実際の運用状況を確認してから、カメラの設置角度（レンズ視野角）、設置エリアの大きさ、感度設定を修正して検知精度を高めるための調整を強く推奨致します。

### <妨害行為検知>

妨害行為検知機能は以下の妨害を検知します。カメラの向き(画角)の変更、レンズを塞ぐ妨害、フォーカス(ピント)の変更、通信妨害、塗料のスプレーなど。

最適な感度の設定はさまざまな監視シーンにより変わります。

図 1-a では対象物の多くが煩雑に移動することによって監視シーンが変化します。

誤動作を減らすためには低い感度の設定が推奨されます。

図 1-b のシーンでは、ほとんど背景が変わらないため感度を「高い」に設定した方が良いと思われます。ただし、感度設定を「高い」に設定した場合、頻繁にアラームが発生することがあります。また、低いに設定した場合は、殆どアラームが発生しないことがあります。上記(a)(b)以外の環境の場合は感度設定を通常に設定します。

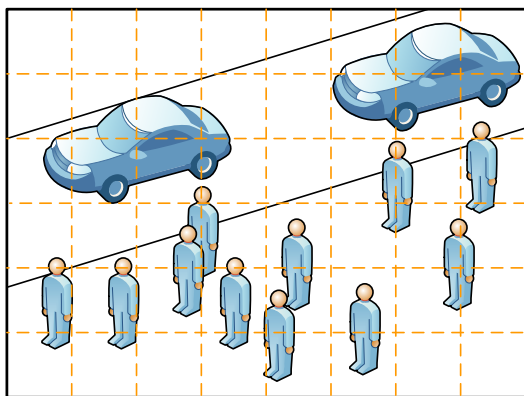


図 1-a

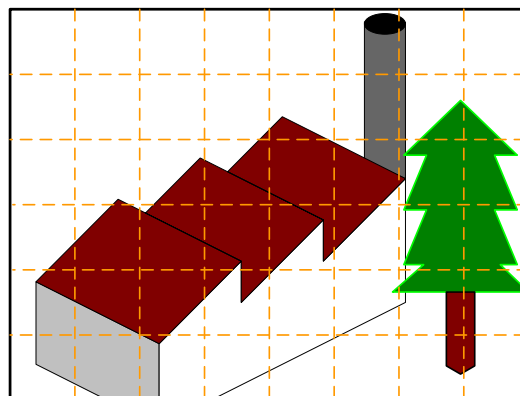


図 1-b

図 1-a は背景の変化が大きい場合、図 1-b は背景の変化が少ない（静止状態）場合。

#### 【注意点事項】

- 監視シーンは鮮明に見えている必要があります。カメラが変化の少ない平坦な領域に焦点が当てられている場合（例えば青空、白い壁、暗い室内）は正しく動作しません。
- 妨害行為検知は次の場合にアラームを発生します。
  - ① カメラが長い時間、強風を受けている場合（カメラが揺れている場合）
  - ② カメラの向き（画角）が変更された場合。
  - ③ 図 1-a のように多くの対象物が長時間カメラの視野内に入出入りする場合。

### <ライン通過検知>

ライン通過検知は、移動している対象物を監視し、対象物が仮想ラインを交差したときにイベントとしてアラームを発生します。

#### 【注意点事項】

- カメラは静止している必要があります。
- ライン通過検知に必要な最小フレームレートは 10fps です。低フレームレートの場合、誤動作を生じます。
- システムが起動する間、移動する対象物を背景として認識する可能性があります。この場合、監視エリアの画像が不安定な（静止していない）ため誤ったアラームを発する場合があります。
- 照明効果により検知精度に影響を与える可能性があります。たとえば、屋外の日光のもとでは対象物の影を対象物の一部と見なされる可能性があります。
- 仮想ラインを交差するチェックポイントは物体（人・車両等）の中心です。複数の対象物が連なって仮想ラインを交差した場合、ライン通過検知は正しく動作しない場合があります。